京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（蒲生野中学校）　設計図

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A－01	特記仕様書　1	E－01	電気設備特記仕様書
A－02	特記仕様書　2	E－02	空調動力盤仕様図
A－03	メーカーリスト	E－03	幹線設備1階平面図
A－04	設計概要・外部仕上表・内部仕上表	E－04	幹線設備2階平面図
A－05	附近見取図・配置図	E－05	幹線設備3階平面図
A－06	外部足場配置図	E－06	空調・換気1階平面図
A－07	室外機基礎・室外機囲いフェンス・換気用アルミパネル・ガラリ・天井脱着1階平面図	E－07	空調・換気2階平面図
A－08	換気用アルミパネル、ガラリ・天井脱着2階平面図	E－08	空調・換気3階平面図
A－09	換気用アルミパネル、ガラリ・天井脱着3階平面図		
A－10	部分詳細図		
		M－01	機械設備特記仕様書
		M－02	空調換気設備機器表
		M－03	空調設備1階平面図
		M－04	空調設備2階平面図
		M－05	空調設備3階平面図
		M－06	自動制御1階平面図
		M－07	自動制御2階平面図
		M－08	自動制御3階平面図

京丹波町中学校・幼稚園空調設備設置工事（蒲生野中学校）　設計図

NON　SCALE　SCALE　SCALE　SCALE

図面リスト

DW.　CK.　NO. A-00　DATE 27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622－0014　京都府南丹市園部町上本町南2－20
TEL 0771-62-0288　FAX 0771-62-0408

００　特記仕様書の取扱いについて

1 項目は、項目番号に○印をつけたものを適用する。　細目は、◎印をつけたものを適用する。
2 その他特記事項は、（ ）内に記載する。
3 図面及び特記事項に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（平成２３年度版）による。
4 製造会社、施工会社指定については、後欄のメーカーリストに依るものとし、同等品以上と読み替える事も可能である。但し、その使用、採用に当っては、係員の承認を受けるものとする。

０１　一般共通事項

① 適用基準等
◎ 公共建築工事標準仕様書建築工事編（国土交通大臣官房官庁営繕部監修 平成２５年版）
◎ 建築工事標準詳細図（国土交通大臣官房官庁営繕部監修 平成２５年版）
☒ 敷地調査共通仕様書（国土交通大臣官房官庁営繕部監修 平成２３年版）
☒ 鉄骨設計標準図（建設大臣官房官庁営繕部監修 平成１０年版）
☒ 工事写真の撮り方 建築編（国土交通大臣官房官庁営繕部監修 平成２５年版）
本特記仕様書は、上記各仕様書等に記載なき事項を特記するものであり、各工事において、他の工事との関連ある事項は、各々該当の記載事項を参照する。

② 疑義
◎ 本工事の設計図書に関する疑義は、工事契約前に、質疑応答書をもって確かめておくものとする。
◎ 設計図書に記載なくとも、外観上、構造上、設備上当然必要と認められるものは、係員の指示に従い、請負金額の範囲内において施工するものとする。

③ 優先順位
◎ 本工事の設計図書等の優先順位は、下記による。
1．現場説明事項（質疑応答書を含む）　2．特記仕様書　3．各設計図
4．共通仕様書　5．公共規格及びこれに準ずる規格
※これにより難い場合は監督員と協議するものとする。

④ 建築材料等
◎ 建築材料の製造所、製品及び施工業者等は、特記されたもの又はこれらと同等以上とする。
ただし、同等以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。
なお、「評価名簿による」と特記されたものの製造所名、製品名、施工業者名については、（社）公共建築協会発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業評価名簿（平成１６年版）」以下「評価名簿」という。）に掲載されたものとする。
また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（（社）公共建築協会）によって、所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出するものとする。

⑤ 特別な材料の工法
◎ 公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

⑥ 電気保安技術者
◎ 適用する。

⑦ 技能士
◎ 適用する。
適用工事種別
鉄筋工事（・鉄筋施工）、コンクリート工事（・左官 ・型枠施工）、鉄骨工事（・とび）
ブロック・ALCパネル・PCカーテンウォール工事（・ブロック建築 ・ALCパネル施工
・カーテンウォール施工）、防水工事（・防水施工）、石工事（・石材施工）、タイル工事
（・タイル張り）、木工事（・建築大工）、屋根及びとい工事（・建築板金 ・スレート施工）
金属工事（・内装仕上げ施工（鋼製下地））、左官工事（・左官）、建具工事（・サッシ施工
・ガラス施工）、塗装工事（・塗装）、内装工事（・内装仕上げ施工（床、天井仕上げ等）
・表装）、植栽工事（・造園）

⑧ 材料試験
◎ 本工事に使用する材料のうち、係員により指示のあるものに関しては、その成績表を提出し、又は係員の認める試験所で試験を行い、確認を受けなければならない。
なお試験に要する諸経費は、すべて請負業者の負担とする。

⑨ 提出図書
◎ 本工事の施工に伴う、提出図書は、下記に定める他、必要に応じて係員と協議の上、作成するものとする。（部数は場合により変動有り）

	提出図書	部数	提出時期	備考
着工時	1．工事請負契約書	2	契約時	控えとなるもの
	2．現場代理人及び主任技術者届	2	契約後速やかに	経歴書、一級建築施工管理技士証明
	3．工事費内訳書（各工事明細合）	2	〃	
	4．全体工事工程表	2	〃	ネットワーク工程表
	5．工事着工届	2	〃	
工事期間中	6．各工事施工計画書	2	各工事着手2週間前	各工事毎
	7．各承認願・コンクリート調合計算書	3	〃	
	8．メーカーリスト・各工事店リスト	2	〃	
	9．緊急時連絡先リスト	2	その都度	
	10．各工事施工図	2	各工事着手2週間前	
	11．定例会議議題表及び前回議事録	2	定例会議毎	質疑は事前送信
	12．月間工事報告書	2	翌月の前半に	工事進捗表、写真、日報
	13．増減見積書	2	増減の生じた時	
	14．出来高承認願	2	中間金のある時	
竣工時	15．工事完了届	2	竣工時	
	16．工事完了引渡書・同受領書	2	〃	
	17．鍵引渡書・備品リスト・同受領書	2	〃	キーボックス入
	18．材料試験報告書	2	試験後10日以内	第三者機関
	19．納品伝表・マニフェスト関係	2	竣工時	
	20．メンテ関係連絡先リスト	2	〃	クリアブックに整理
	21．諸官庁届出書類等控	2	〃	
	22．機器類取扱説明書・同保証書	2	〃	クリアブックに整理
	23．工事保証書（全体・個別）	2	〃	クリアブックに整理
	24．工事写真	2	〃	工事写真帳に整理
	25．工事竣工図・竣工写真	2	竣工後20日以内	カラーキャビネット版（外観室内共）

◎ 工事竣工図は、A３縮小版製本とし、2部提出する。
◎ 竣工写真は、アルバム貼付にて提出の事。（A４版）

⑩ 定例打合会議
◎ 工事の円滑な進行を計るため、係員の指示により、工事期間中定期的に各工事責任者を招集し、打合わせを行うものとする。
◎ 請負者は、定例打合会議議事録をとり、その都度係員の承認を得るものとする。

11 既設部分との取合
☒ 既設建物と今回工事の取り合い部分、その他ではつり及び工事の都合などにより破損、損傷させた個所は、今回工事仕上げ及び、旧工事、仕上同材にて完全に補修しなければならない。

⑫ 別途工事
◎ 別途工事についての工事工程ならびに、納まり等に関して、別途工事業者と密接に連絡し、調整に当たらなければならない。

⑬ 発生材の処理
☒ 引渡を要するもの（　　　）
◎ 指定副産物の搬出（再生資源の利用を図るもの）
指定副産物の種類
☒ アスファルトコンクリート塊　◎ 建築発生木材
◎ セメントコンクリート塊　☒
搬入先 ※再資源化施設等
◎ 指定副産物以外の搬出
※場外搬出適切処理
◎ 有（・　　・　　）☒ 無
※委託処理にあたっては、マニフェストシステム（積荷目録制）等により適正に処理することとし、監督員に予め「施工計画書」を提出のうえ承認を得ること。処理後は伝票の確認を受けること。

⑭ 工事保証その他
◎ 建物竣工引渡後 2 年以内において工事不良のため、生じたと認められる損害は請負者の負担にて、敏速丁寧に復旧する。
◎ 本工事施工に際しては、本工事場所が、工事による騒音、振動などについて地域規制されていないかを確かめ、規制されている場合は、規制に従い施工計画をたて、関係官庁の指導を受ける。
◎ 本工事施工に際しては関係官公署その他の機関に対して緊密な連絡を保つとともに学校及び地域住民に対して十分な安全対策を配慮すること。
◎ 騒音規制法による作業届を所在地市町村長に提出するとともに規制基準に適合するよう監督員と協議すること。
◎ 本工事が埋蔵文化財等の調査を必要とするとき、又は工事中に文化財と思料されるような類が出土した場合は監督員の指示を受けること。

０２　仮設工事

① 仮囲い
☒ 構造：☒ 鋼版製　☒ 木製　☒ その他（LGS+ボード
◎ 高さ：☒ 1．5m　☒ 1．8m　☒ 3．0m以上
◎ その他（A型バリケード程度で区画する
☒ 仕上：☒ 仕上なし　☒ ペイント仕上
☒ その他（
◎ 範囲：安全上必要と思われる範囲とする。
☒ 意匠：

2 係員詰所
☒ 構造：☒ プレハブ造　☒ 木造　☒ その他（
☒ 規模：☒ 10m² 内外　☒ 20m² 内外　☒ 35m² 内外
☒ その他（
☒ 備品：☒ 机、椅子、書類及び図面棚、図板、定規、黒板、温湿度計、テストハンマー、ノギス、安全帽、来客用安全帽子、長靴、水平垂直器、ロッカー
☒ その他（
☒ 設備：☒ 電灯　☒ 給排水、給湯設備　☒ 電話
☒ 冷蔵庫　☒ 消火器　☒ インターホン
☒ クーラー　☒ その他（暖房器具
☒ 係員詰所は、工事打合わせに便利なように請負事務所に隣接して建てる。詰所に係る諸経費は、一切請負者の負担とする。

③ 看板
◎ 本工事現場に掲示する看板は、大きさ、書体、仕上げ、取付位置などあらかじめ係員と協議する。

④ 工事用水電力
◎ 利用できる（（有償）・ 無償 ）☒ 利用できない

⑤ 障害物の処理
◎ 工事上撤去、移設を要する軽微なものは、本工事の範囲とする。

6 設計G．L．
◎ 標準G．L．の決定及び、B．M．の設置は、係員の立会いのもとに行う。

⑦ 保護設備
◎ 本工事の施工に当り、付近住民、隣接建物、工作物、通行人に対して、損害を与えないように、必要な保護設備を計画し、係員及び各関係の承認を得て実施する。万一損害を与えた時は、速やかに応急手当、復旧工事をし、これに要した費用は、請負者の負担とする。
◎ 工事完了後、建物引渡し前に全体の掃除を行い、公道の工事による損傷部は完全に復旧する。

⑧ 外部足場
◎ 枠組足場　☒ 単管本足場　☒ 単管抱足場　☒ 単管一本足場
☒ ブラケット足場　☒ 外部落下物養生 ☒ 単管抱足場（H3M+養生シート）

⑨ 内部足場
☒ 枠組棚足場　☒ 単管棚足場　◎ 脚立足場　☒ ローリングタワー（必要に応じて）

０３　土工事

① 根切り
◎ 工事着手前に根切方法、山留工法、排水方法、使用機器等を記した、施工計画図を提出し、係員の承認を得るものとする。
☒ 根切完了後、深さ、大きさ、床さらいの状態について、係員の承認を得るものとする。
☒ 特殊工法

2 敷地整理
☒ 樹木：☒ 移植　☒ 伐切　☒ その他（

③ 埋戻し、盛土
◎ 埋戻し：◎ 根切土使用　☒ その他（
☒ 盛　土：☒ 無　☒ 有

④ 残土処分
◎ 場外搬出
☒ 場内推積　☒ 場内敷均し
☒ その他（

０４　地業工事

1 地耐力試験
☒ 不要　☒ 必要　ヶ所
☒ 長期支持力　t/m²

2 既設杭地業
☒ 杭の種類：☒ RC杭　☒ PC杭　☒ その他（
☒ 長さ等 ：詳細については構造設計図特記による。
☒ 試験杭 ：詳細については構造設計図特記による。
☒ アースオーガー工法：☒ 不要　☒ 必要 GL－　m迄

3 場所打コンクリート地業
☒ 杭の種類：☒ アースドリル杭　☒ ベノト杭　☒ 深礎工法
☒ その他（ 柱状改良（ソイルパイル）
☒ 長さ等 ：詳細については構造設計図特記による。
☒ 使用鉄筋 ：詳細については構造設計図特記による。
☒ コンクリート・固化材：詳細については構造設計図特記による。
☒ 配合試験・六価クロム溶出試験：☒ 不要　☒ 必要 1 ヶ所 1検体
☒ 土質サンプル採取： 頭部・全長コアボーリング　☒ 不要 ☒ 必要 頭部・全長 1 ヶ所
☒ 積荷試験・一軸圧縮試験：☒ 不要　☒ 必要 頭部 1 ヶ所 全長9本（各棟毎）

④ 割り石及び砂利地業
◎ 地業の種類：☒ 割り石　☒ 砂　☒ 砂利
◎ 砕石　☒ その他（
◎ 厚さ ： 100 mm

5 ラップルコンクリート地業
☒ コンクリートの調合：セメント1 ・ 砂3 ・砂利6 （容積比）
☒ コンクリートと玉石の比率：☒ 1：1　◎ その他（Fc=18

6 捨てコンクリート地業
☒ 厚さ： 50 mm
☒ 調合： セメント1 ・ 砂3 ・砂利6 （容積比）

7 ポリエチレンフイルム敷き
☒ 不要　☒ 必要 厚0．15mm

8 特殊工法
☒

9 地盤改良
☒ 硬化剤：表層改良（撹拌式）☒ 硬化剤：詳細については構造設計図特記による。
☒ 積荷試験・一軸圧縮試験：☒ 不要　☒ 必要 1 ヶ所 3本（各棟毎）

０５　コンクリート工事

① 鉄筋コンクリート
◎ コンクリートの種別：◎ 普通コンクリート ☒ 早強コンクリート
☒ その他（
◎ 設計基準強度 ：☒ Fc=18　◎ Fc=21
☒ Fc=22．5
☒ その他（
☒ 混和剤等 ：☒ 減水剤　☒ 防縮剤
☒ その他（
◎ 粗骨材 ：☒ 川砂利　◎ 砕石
☒ その他（
◎ 細骨材 ：☒ 川砂　◎ 山砂
☒ その他（
◎ コンクリートの供給：◎ レディーミックスコンクリート
☒ 現場コンクリート
☒ その他（
◎ 水セメント比 ：◎ 65%　☒ 60%
☒ その他（
◎ 塩化物規制 ：◎ 0．3Kg/コンクリートm³以下
☒ 0．3Kg/m³～0．6Kg/m³

2 軽量コンクリート（構造用）
☒ 粗骨材 ：☒ 人工軽量骨材　☒ その他（
☒ 細骨材 ：☒ 人工軽量骨材　☒ その他（
☒ 設計基準強度：☒ 180Kg/cm² ☒ 210Kg/cm²
☒ 225Kg/cm² ☒ その他（
☒ 気乾比重 ：☒ 1．8以下　☒ その他（

3 寒中コンクリート
☒ 適用範囲：　年　月　日 ～　年　月　日

4 無筋コンクリート
☒ 土間コンクリート：F₀ = 　Kg/cm²　スランプ15cm以下とする。
☒ 防水押え床かさ上げコンクリート：F₀ = 　Kg/cm²

5 軽量コンクリート（非構造用）
☒ 基準強度：☒ 90Kg/cm² ☒ 135Kg/cm² ☒ その他（
☒ 気乾比重：☒ 1．8　☒ 1．2　☒ 1．1
☒ その他（
☒ 粗骨材：☒ 火山砂利又は石灰ガラ　☒ 人工軽量骨材
☒ その他（
☒ 細骨材：☒ 川砂　☒ 山砂　☒ 海砂
☒ その他（

⑥ 型枠
◎ 材料：◎ 合板（厚12mm）　☒ 縁甲板（厚　mm）
☒ 金属製型枠パネル　☒ その他（
◎ 工法：◎ ボルト式　◎ その他（
◎ 剥離剤：☒ 使用不可　◎ 使用可（
◎ 存置期間：建設省告示等110号による。
◎ 打放しコンクリート仕上りのかぶり厚増：◎ 20mm
☒ その他（
◎ コンクリート面の仕上り程度：◎ 目違い不陸等極めて少ない良好な面とする。
☒ 目違い不陸等少ない良好な面とする。
☒ 打放しのままとし目違いばらいを行う。
☒ 木コン等による穴の仕上：☒ 打放し仕上げの場合、保水剤入りモルタルを詰める。
☒ 面うちに仕上げる。
☒ コンクリート面に合わせ仕上げる。

⑦ 試験
◎ 採取した試験体は工事現場等、請負業者の直接管理下にある場所に保管する。
◎ コンクリートの圧縮強度試験は、公認の試験所に於て行なうことを原則とする。

⑧ 運搬及び打込
◎ コンクリート打込に先立って、設計、施工条件を十分考慮し、適切なる施工計画書を作成し、係員の承認をうけるものとする。

０６　鉄筋工事

① 一般事項
◎ 鉄筋の使用範囲は、構造設計図による。
◎ 鉄筋の継手及び補強配筋等については、共通仕様書の他に、構造設計図記載の、基準詳細図等を優先とする。
◎ 鉄筋の加工、組立に際しては、あらかじめ鉄筋加工図を作製し、係員の承認を受ける。

② 材料
☒ 普通鉄筋：SR235（規格品）
◎ 異形鉄筋：◎ SD295A（規格品）　◎ SD345（規格品）
☒ SD390（規格品）　☒ その他（

③ 継手
◎ 種類：◎ ガス圧接継手（ 16φ以上 ・ 19φ以上 ）
◎ 重ね継手　☒ アーク熔接継手
☒ その他（

④ 鉄筋スペーサー
◎ 種類：◎ 金属製　◎ モルタル製　☒ 塩ビ製
☒ その他（

０７　鉄骨工事

1 一般事項
☒ 使用範囲及び区分は、構造設計図による。
☒ 鉄筋の継手、仕口及び補強部分その他については、共通仕様書の他に構造設計図記載の、基準詳細図等を優先する。
☒ 工作図または、現寸図（型板及び定規を含む）を作成し、係員の検査を受ける。

2 普通鋼
☒ 形鋼・鋼板：☒ SS400　☒ SS490
☒ SM400A/B/C　☒ SM490A/B/C
☒ SM490YA/B　☒ その他（SN490B・C
☒ 軽量形鋼 ：SSC400（規格品）
☒ 鋼管 ：☒ STK400　☒ STK490　☒ BRC295
☒ その他（　☒ SS400
☒ 高力ボルト：☒ F8T　☒ F10T　☒ F12T ☒ S10T
☒ 普通ボルト：SS400とし等級は中ボルト程度とする。
☒ リベット ：SV400A（規格品）
☒ 熔接材料 ：JIS・Z・3211規格に適合するもの。
☒ 防錆塗装 ：素地調整の程度　☒ 第1種ケレン（ブラスト法）
☒ 第2種ケレン（機械的作業）
☒ 第3種ケレン（手工具作業）
：錆止塗装は、仕上塗装種別に応じた同系錆止塗料とする。
：塗装回数は、工場1回、現場1回、但し組立後塗装不可能な部分は、工場2回塗りとする。
☒ 仕上塗装 ：☒ オイルペイント　☒ グラファイトペイント
☒ その他（

3 耐候性高張力鋼
☒ 鋼材 ：☒ SPA H/C　☒ SMA400A/B/C
☒ SMA490A/B/C　☒ その他（
☒ 高力ボルト：☒ F8T　☒ F10T　☒ F12T
☒ 使用材料 ：☒ 裸使用　☒ 表面処理（ ウェザーコートⅠ ・ ウェザーコートⅡ ）
☒ その他（
☒ 溶接材料 ：JIS・Z・3212規格に適合するもの。

4 工法
☒ ボルト工法　☒ 溶接工法（アーク溶接）
☒ その他（

5 溶接部の試験
☒ 試験の種別：☒ 超音波探傷試験　☒ X線検査
☒ その他（

6 溶接工の技量確認
☒ 行なう　☒ 行なわない

7 試作品
☒ 必要　☒ 不必要

０８　組積工事

1 コンクリートブロック
☒ 種　別：☒ A種　☒ B種　☒ C種（防水）
☒ 厚　さ：☒ 100mm　☒ 120mm　☒ 150mm
☒ 190mm
☒ 補強鉄筋：縦筋D10@400
横筋D10@600
開口補強筋D13

2 煉瓦（レンガ）
☒ 種　別：☒ 普通　☒ 耐火　☒ 焼過ぎ
☒ その他（
☒ 使用個所：☒ 化粧　☒ 塗下　☒ 防水押え
☒ 煙道　☒ その他（

3 ALC版
☒ 現状・寸法：☒ 外壁 100 mm　☒ 間仕切壁　mm
☒ 床版　mm　☒ 屋根板　mm
☒ 目地シーリング材：☒ 弾性 （ ポリサルファイド系 ・ シリコン系 ・ ポリウレタン系 ）
☒ 塑性 （ アクリル系 ・ ブチル系 ）
☒ 油性
☒ その他（
☒ 取付金物：SS400を原則とし、亜鉛メッキ処理を原則とする。

3 プレキャストコンクリート
☒ 本工事は、事前に指定製作所に於て設計図及び仕様書に基づきあらかじめ製作、組立工法の詳細について、施工図及び、施工計画書を提出し、係員の承認を受けた後工事に着手する。
☒ コンクリートの種別：☒ 軽量コンクリート（構造用）
☒ 普通コンクリート
☒ 混和剤の有無 ：☒ 必要　☒ 不必要
☒ コンクリートの強度：Kg/cm²
☒ 型　枠 ：☒ 木製　☒ 金属製
☒ その他（
☒ シーリング剤 ：☒ ポリサルファイド系
☒ その他（
☒ 取付金物の防錆処理：☒ シンクロメートメッキ処理
☒ 亜鉛メッキ処理
☒ その他（
☒ 現寸試作品 ：☒ 必要　☒ 不必要

０９　防水工事

1 一般事項
☒ 本工事は、すべて責任施工とする。

2 アスファルト防水
☒ 種別：☒ 歩行用屋上防水　☒ 露出屋上防水　☒ 室内防水
☒ その他（

3 シート防水
☒ 種別：☒ 合成ゴム系シート防水 厚　m/m
☒ 合成樹脂系シート防水 厚1．5 m/m
☒ その他（

4 塗布、塗膜防水
☒ 種別：☒ ウレタン塗布防水 厚　m/m
☒ ゴムアスファルト塗布防水 厚　m/m
☒ その他（

5 モルタル防水
☒ 種別：☒ セメント系　☒ 樹脂系　☒ その他（

6 止水板
☒ 地下階コンクリート打継ぎ箇所止水板：☒ 不要
☒ 必要：☒ クロロプレン
☒ 合成樹脂

7 目地押え伸縮目地
☒ 目地材料：☒ エラスタイト+アスファルトコンパウンド（巾　m/m）
☒ 発泡樹脂板+アスファルトコンパウンド（巾　m/m）
☒ その他（
☒ 工法：☒ アスファルトコンパウンドは、防水押え仕上り面より5m/m下りに充てんしエラストタイト以外の目地棒は必ず撤去する。

8 責任保険
☒ 工事請負者及び施工会社は、記名捺印の上、下記保証期間の保証書を3部係員に提出するものとし、事故を生じた場合は、無償にて補修復旧なすものとする。
☒ アスファルト防水：10年間
☒ シート防水 ： 10年間
☒ 塗布防水 ： 年間
☒ モルタル防水 ： 5年間
☒ その他（

9 シーリング材
☒ 外部建具廻り：（トップライト、ポリカ庇廻り等含む）☒ ポリサルファイド系
☒ ポリウレタン系
☒ 油性系
☒ シリコン系
☒ その他（
☒ コンクリート打継目地：☒ ポリサルファイド系
☒ ポリウレタン系
☒ 油性系
☒ シリコン系
☒ その他（ ウレタン系ノンブリード
☒ 充てんは、　mm*　mmを最小とする。バックアップ材を使用するものとし、発泡樹脂成型材とする。

１０　石工事

1 一般事項
☒ 石材は、傷腐れ又は亀裂を生ずる恐れのある筋や欠点の少ないものとし、色、仕上面の材質は、サンプルにより、指定する。
☒ つなぎ金物の太柄、鎹、千切類は、防錆処理を施した鋼又は、真ちゅう製とする。
☒ 仕上の種類は、次の記号を用いる。　A=本磨き　B=水磨き
C=粗磨き　D=小叩き
E=ひき肌　F=ビシャン叩き
G=割肌

2 材料
☒ 大理石：☒ 国産　☒ 外国産　☒ 板厚　m/m
☒ 仕上
☒ 花こう岩：☒ 国産　☒ 外国産　☒ 板厚　m/m
☒ 仕上
☒ その他：☒ 国産　☒ 外国産
☒ 板厚　m/m　☒ 仕上
☒ テラゾーブロック：☒ 種石
厚　m/m　仕上

１１　タイル工事

1 一般事項
☒ 指定製造会社の製品により、見本品を提出し、係員の承認を受ける。
☒ タイル割付図を作成し、指定の個所は役物を用いるものとし、係員の承認を受ける。

2 工法
☒ 伸縮目地：垂直方向には、柱間毎に（柱型がない場合）あるいは柱型の両側（柱型がある場合）に設ける。
水平方向には、各階毎に設ける。
☒ タイル工法：☒ 圧着工法　☒ 団子張工法　☒ 接着工法
☒ 打ち込み工法　☒ その他（

3 普通タイル
☒ 陶器質タイル　100 mm* 100 mm*厚　mm
☒ 半磁器質タイル　mm*　mm*厚　mm
☒ 磁器質タイル　100 mm* 100 mm*厚　mm
☒ モザイクタイル　mm*　mm*厚　mm
☒ クリンカータイル　mm*　mm*厚　mm
☒ その他（　）　mm*　mm*厚　mm

4 特殊タイル
☒ テッセラタイル　mm*　mm*厚　mm
☒ 窯変タイル　mm*　mm*厚　mm
☒ 模様入タイル　mm*　mm*厚　mm
☒ 外国産タイル　mm*　mm*厚　mm
☒ その他（　）　mm*　mm*厚　mm

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（蒲生野中学校）　設計図			
NON SCALE	SCALE	SCALE	SCALE
特記仕様書１			
DW.	CK.	NO. A-01	DATE 27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号 野中健一
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

12 木工事

	項目	内容
1	一般事項	☒ 土台・床下地は、薬液による防虫処理剤を使用する。
		☒ ラワン材使用の場合は、加熱による防虫処理材とする。但し係員の承認を受けて、薬液による防虫処理を使用してもよい。
		☒ 水廻り及びカマチ、敷居類は、檜又は、同等以上の堅木を使用するものとする。
2	樹種及び等級	☒ 見え隠れ材 ： ☒ 樹種 ベイマツ ☒ 1 等級
		☒ 和室造作材 ： ☒ 樹種 スギ ☒ 1 等級
		☒ 一般造作材 ： ☒ 樹種 スプルス ☒ 1 等級
		☒ 枠 材 ： ☒ 樹種 スプルス ☒ 1 等級
		☒ 集成材の表面： ☒ 樹種 ナラ ☒ 1 等級
3	防腐・防虫の処理	☒ 見え隠れ部分の抱水面上に接する部分、及び地盤より1m以内の部分に行なうものとする。

13 屋根工事

	項目	内容
1	鋼板葺	☒ 材料： ☒ 亜鉛鍍鉄板 ☒ ビニール被覆鉄板 ☒ 着色ガリバリウム鋼鈑
		☒ その他（
		☒ 板厚： ☒ 厚 0．4 m/m
		☒ 工法： ☒ 平葺（ 一文字葺 ・ ひし葺 ・ 瓦棒葺 ・ 横葺 ）
		☒ 波板葺（ 大波 ・ 小波 ）
		☒ 形状： ☒ 長尺 ☒ 規格
		☒ 野地板： ☒ ドリゾール板 厚 m/m
		☒ 木毛セメント板 厚 m/m
		☒ 杉荒板 厚 m/m
		☒ その他（ ノジライト18
		☒ 下葺： ☒ アスファルトルーフィング（22Kg以上）
		☒ アスファルトフェルト（20Kg以上）
		☒ その他（
2	スレート葺	☒ 材料： ☒ 石綿大波 ☒ 石綿小波 ☒ 石綿平板
		☒ リブ ☒ その他（
3	折版構造	☒ 材料： ☒ 亜鉛鍍鉄板 ☒ 片面カラー鉄板 ☒ ビニール被覆鉄板
		☒ その他（ ガリバリウム鋼板
		☒ 板厚： 0．8 m/m 裏面ペフ付
		☒ 被覆： ☒ 耐火（
		☒ 断熱（
		☒ 工法： 指定製造所の仕様による。
4	アスファルトシングル葺	☒ 材料・工法：
5	その他の屋根葺	☒ 材料・工法：
6	樋	☒ 竪樋： ☒ VP管（φ 90・75 m/m）
		☒ VU管（φ m/m）
		☒ その他（
		☒ 谷樋： ☒ カラー鉄板
		☒ その他（
		☒ 軒樋： ☒ カラー鉄板
		☒ 塩ビ製（ アイアン素材大型折版用120I型
		☒ その他（
		☒ 防露： ☒ 建物内部に取付く部分は図示なき限りガラス繊維保温筒厚25mmの上アスファルトフェルト巻ビニールテープ押えとする。

14 金属工事

	項目	内容
1	一般事項	◎ 工事にあたっては、製作図を提出の上係員の承認を受けるものとする。
2	防錆処理	☒ 外部金物： ☒ ジンクロメートメッキ処理 ☒ 亜鉛メッキ処理
		☒ その他（
		☒ 内部金物： ☒ JIS（鉛丹ジンクロメート錆止塗料）に規定する。
		塗料1回塗とする。
		☒ 取付用下地金物： ☒ 指定なき限り亜鉛メッキ処理とする。
3	軽量鉄骨天井及び壁下地材	☒ 軽量鉄骨天井下地及び、壁下地は指定製造所製品とし、防錆処理はジンクロメートメッキ処理、又は亜鉛メッキ処理を施したものとする。
4	金属製階段ノンスリップ	☒ 材質・巾： ☒ ステンレス製 m/m ☒ アルミ製 40 m/m
		☒ 真ちゅう製 m/m ☒ 鉄製 m/m
		☒ その他（
		☒ 型式 ： ☒ タイヤ入 ☒ タイヤ無
5	ルーフドレイン	☒ 材質 ： 鋳鉄製コールタール焼付仕上げとする。
		☒ 取付工法： ☒ 先付け工法 ☒ 後付け工法
6	マンホール	☒ 種類 ： ☒ 並型 ☒ 防水型 ☒ 耐重型
		☒ 防臭型 ☒ 錠（ 有 ・ 無 ）
		☒ 材質 ： ☒ 鋳鉄製 ☒ アルミ枠製 ☒ その他（
		☒ 型式 ： ☒ 丸型 ☒ 角型 ☒ 二重型化粧マンホール
		☒ その他（
7	天井改め口	☒ 材質 ： ☒ アルミ枠製 ☒ ステンレス枠製 ☒ その他（
		☒ 寸法 ： ☒ 450m/m角 ☒ 600m/m角 ☒ その他（
8	格子蓋・化粧蓋	☒ 材質 ： ☒ 鋳鉄製 m/m ☒ ステンレス製 m/m
		☒ その他（
9	製作金物	☒ 材質・形状等は、設計図によるものとする。
10	E．P．J．	☒ 材質 ： ☒ アルミ製 ☒ ステンレス製 ☒ その他（

15 左官工事

	項目	内容
1	モルタル塗	☒ モルタルは亀裂防止剤、接着剤、防水剤その他の混和剤を必要に応じて係員と協議の上使用するものとする。
		☒ 塗厚 内壁： ☒ 20mm ☒ mm
		外壁： ☒ 20mm 目地処理モルタル： ☒ 5 mm
		床： ☒ 30mm 基礎天端均し： ☒ 20 mm
		☒ 15mm（エポキシ通気樹脂モルタル）
		共通： ☒シゴキ・直押え
2	防水モルタル壁	☒ 防水剤は指定製造会社の製品とし、モルタルの項に準じて仕上げる。
		☒ 調合容積比 セメント：1
		砂 ：2
		防水剤（製造会社の指定量）
3	プラスター壁	☒ 種類： ☒ ドロマイトプラスター ☒ 石膏プラスター
		☒ ALC版用プラスター ☒ その他（
		☒ ラスボード： ☒ 厚 9m/m ☒ 厚 7m/m ☒ その他（

16 建具工事

	項目	内容
1	アルミ建具	☒ 種類： ☒ レディーメード製品 ☒ イージーオーダー製品
		☒ オーダーメード製品 ☒ その他（
		☒ 型式： ☒ レギュラー ☒ セミエアータイト ☒ エアータイト
		☒ その他（既存と同等品 防火設備仕様
		☒ 仕上： ☒ レギュラー ☒ セミエアータイト ☒ エアータイト
		☒ その他（既存と同等品
2	鋼製建具	☒ 種 類： ☒ 普通鋼板 ☒ ボンデ亜鉛鋼板 ☒ ボンデ鋼板
		☒ 耐候製板 ☒ その他（
		☒ 鋼板厚さ： ☒ 窓・出入口・三方枠・方立・無目等は厚さ2．3m/m
		沓摺はステンレス製厚さ2m/m
		☒ 防錆処理： ☒ ジンクロメート錆止塗料一回塗 ☒ その他（
		☒ 防音処理： ☒ 防音扉の性能は30db以上とする。
		☒ 外部廻り、機械室、その他騒音を生じる個所の鋼製ドアー枠はスポンジネオプレーン気密材を用いて気密にする。
3	ステンレス製建具	☒ 種 類： ☒ レディーメード製品 ☒ オーダーメード製品
		☒ 仕 上： ☒ ヘアーライン仕上 ☒ バフ仕上
		☒ エッチング仕上 ☒ ミラー仕上
		☒ その他（
		☒ 曲げ加工： ☒ 普通曲げ ☒ 角出し曲げ ☒ その他（
4	シャッター	☒ 種類： ☒ 重量電動シャッター ☒ 軽量電動シャッター
		☒ 軽量手動シャッター
		☒ 防煙・防火シャッター（ 甲種 ・ 乙種 ）
		☒ 型式： ☒ 差込型 ☒ パイプ型 ☒ リベット綴り型
		☒ ネット型 ☒ 波型 ☒ その他（
		☒ 機構： ☒ 巻上げ式 ☒ 横引式 ☒ 水平式
		☒ その他（
		☒ レール・マグサ： ☒ ステンレス製 ☒ 鋼板製
		☒ スラットの種類： ☒ ステンレス製 ☒ アルミ製
		☒ 鋼板製
		厚さ： ☒ 厚1．6mm ☒ 厚1．2mm
		☒ 厚0．8mm ☒ 厚0．5 mm
5	自動扉装置	☒ 動力方式： ☒ 油圧式 ☒ 空気圧式 ☒ 電気圧式
		☒ その他（
		☒ 制御方式： ☒ マットスイッチ式 ☒ タッチスイッチ式
		☒ 光電スイッチ ☒ その他（
6	木製建具	☒ 一般事項： ☒ 仕上塗装は後記、塗装工事仕様によるものとし、化粧合板の仕様は設計図による。
		☒ フラッシュ戸表面材の厚さ： ☒ 5．5mm以上 ☒ 4．0mm以上
		☒ 3．0mm以上
7	建具金物	☒ 指定製造所の製品とし、形式は設計図により、見本提出の上、係員が承認したものとする。
		☒ マスターキー： ☒ 必要 組各3枚 ☒ 不要
		☒ グランドマスターキー： ☒ 必要 ☒ 不要
		☒ 各キーは市販キーボックスに収納し、案内図を添付して係員に提出する。
8	建具周囲のシーリング材	☒ 建具の四周は入念にコーキングすること。
		☒ 種類： ☒ ポリサルファイド系 ☒ シリコン系 ☒ 油性
		☒ その他（
9	網戸	☒ 網の種類： ☒ サラン ☒ ステンレス ☒ グラスファイバー
		☒ その他（
10	ガラス	☒ 種類： 設計図によるものとし、指定製造会社の製品とする。
		☒ ガラス取付材料： ☒ ビニール製ビード
		☒ ポリサルファイド系シール材
		☒ 硬化性ガラスパテ
		☒ ネオプレーンジッパーガスケット
		☒ その他（
11	三方枠	☒ 材質 ： ☒ スチール製 ☒ ステンレス製 ☒ その他（

17 塗装工事

	項目	内容
①	一般事項	◎ 素地調整及び塗装工程は、共通仕様書による。
		☒ 塗装業者は、日本塗装工業会会員とする。
2	防火材料	☒ 屋内の壁及び天井の仕上げは基材同等の認定のあるものとする。
3	合成樹脂・エマルジョンペイント壁	☒ 浴室・脱衣室・便所・洗面所・湯沸室の天井は一種（外部用）を用いる。
4	マスチック塗	☒ 種類： ☒ マスチックA（外部用）
		☒ マスチックB（内部用）
		☒ マスチックC（内・外部用）
5	特殊塗料	☒ 使用個所：
		☒ 種類：

18 内装工事

	項目	内容
1	一般事項	☒ 本工事に使用する材料は、JIS規格品とする。但し特殊材料はこれに準拠し前もって見本品を提出したり、見本張りを行い、係員の承認を受けることとする。原則としてF☆☆☆☆認定品を使用する。
		☒ 本工事に使用する合板は図示なき限り、塗装下地の場合は榀合板、その他はラワン、等級は4級とする。又水場廻りに使用する合板はタイプⅠ耐水合板とする。
		☒ 目透し貼りの受材面は、特記なき限り、巾広の綿テープ張りを施す。
2	合成樹脂系床材	☒ 種類： ☒ 塩化ビニール系樹脂タイル ☒ 半硬質
		☒ 軟 質
		☒ ホモジニアス
		☒ 塩化ビニール系樹脂シート ☒ 半硬質
		☒ 軟 質
		☒ ホモジニアス
		☒ ゴムタイル
		☒ ゴムシート
		☒ その他（
3	フローリング材 フローリングブロック材	☒ 種類： ☒ モザイク ☒ パーケット ☒ フローリング
		☒ その他（
		☒ 材質： ☒ ナラ ☒ ブナ ☒ サクラ
		☒ その他（
4	カーペット	☒ 種類： ☒ ウイルトンカーペット
		☒ コードカーペット
		☒ パンチカーペット
		☒ その他（タイルカーペット）
		☒ 下地： ☒ 無 ☒ 有（フェルトクッション 5．0mm）
		☒ 工法： ☒ 接着張り ☒ 両面粘着テープ張り ☒ グリッパー工法
		☒ その他（
5	畳	☒ 種類： ☒ 本畳 ☒ ビニール畳 ☒ スタイロ畳
		☒ 特殊畳床： ☒ 無 ☒ 有
6	特殊合板	☒ 種類： ☒ 天然木化粧合板
		☒ 特殊加工合板 ☒ メラミン化粧合板
		☒ ポリエステル化粧板
		☒ プリント合板
		☒ ☒ その他（ 品合板厚5．5
7	吸音板	☒ 岩綿吸音板： ☒ 下地 ☒ 木製軸組
		☒ 石膏ボード厚9mm
		☒ 軽鉄下地
		☒ その他（
		☒ 穴あき石膏ボード ： ☒ 厚 mm
		☒ 穴あきフレキシブルボード： ☒ 厚 mm ☒ 厚 mm
		☒ 炭酸マグネシウム板 ： ☒ 厚 mm
8	壁装材	☒ 紙製品 ： 級以上
		☒ 布製品 ： 級以上
		☒ ビニール製品： 2 級以上
9	石膏その他のボード張り	☒ 石膏ボード ： 厚 12．5 9．5mm
		☒ 化粧石膏ボード ： 厚 9．5mm
		☒ 石綿セメント ： 厚 mm
		☒ 石綿ケイ酸カルシウム板： 厚 8．0mm
		☒ その他（ 硬質石膏ボード 厚 12．5mm
10	断熱材	☒ フォームポリスチレン： 厚 mm
		☒ ロックウール ： 厚 mm
		☒ グラスウール ： 厚 50 mm 厚 mm
		☒ 発泡プラスチック系吹付 ： 厚 25 mm
11	既製間仕切	☒ 表面材および仕上げ： ☒ 鋼板 厚さ0．8mm以上+樹脂塗装あるいは樹脂焼付塗装
		☒ その他（
		☒ 工法： ☒ スタッド式 ☒ パネル一体式 ☒ パネル分割式
12	その他	

19 雑工事

	項目	内容
1	室名札 階数表示	☒ 材 質： ☒ プラスチック ☒ ステンレス ☒ アルミ
		☒ その他（
		☒ 文字型式： ☒ 書き文字 ☒ 彫文字 ☒ 張文字
		☒ 抜き文字 ☒ その他（
		☒ 文字材質： ☒ 地と同質 ☒ シルクスクリーンエナメル
		☒ その他（
2	郵便受	☒ 材質： ☒ ステンレス ☒ 鋼板 ☒ その他（
		☒ 型式： ☒ 個別型 ☒ 集合型
3	黒板掲示板	☒ 材質： ☒ スチール ☒ アルミ ☒ ホーロー鋼板
		☒ その他（
		☒ 枠 ： ☒ アルミ ☒ スチール ☒ 木製
		☒ 形状： ☒ 平面 ☒ 曲面 ☒ 上げ下げ式
		☒ 映写スクリーン内蔵型
		☒ 寸法： ☒ W m/m*H m/m
4	屋上丸環	☒ 材質： ☒ 亜鉛メッキ ☒ ステンレス ☒ その他（
5	避難器具	☒ 型式：
		☒ 材質：
6	沓拭マット	☒ 材質： ☒ ステンレス（枠：ステンレス）
		☒ 硬質アルミ（枠：アルミ）
		☒ ビニールあるいはゴム製（枠：硬質アルミ）
7	可動間仕切	☒ 種類： ☒ アコーデオンドアー ☒ ルーバードアー
		☒ パネルパーティション ☒ その他（
		☒ 材質： ☒ 木製 ☒ ビニルクロス仕上 ☒ 焼付塗装
		☒ 化粧単板 ☒ その他（
8	カーテンレール	☒ 材質： ☒ ステンレス ☒ アルミ ☒ プラスチック
		☒ その他（ 木製
		☒ 型式： ☒ シングル ☒ ダブル ☒ その他（
9	ブラインド	☒ 材質： ☒ ステンレス ☒ アルミ ☒ プラスチック
		☒ 型式： ☒ たて型 ☒ よこ型（スラット巾： m/m）
10	流し台	☒ 種類： ◎ 既製品 ☒ 特注 ☒ その他（
11	浴槽	☒ 材質： ☒ FRP ☒ ポリエステル ☒ ホーロー
		☒ ステンレス
12	旗竿金物	☒ 材質： ☒ ステンレス ☒ アルミ ☒ スチール
13	消火器	☒ ABC10型（9本設置）

20 外構工事

	項目	内容
1	一般事項	☒ 工事範囲等は設計図による他、係員の指示によるものとする.
2	舗装	☒ 種別： ☒ アスファルト舗装（○混合式 ・ 浸透式 ）
		☒ コンクリート舗装（ 有筋 ・ 無筋 ・ 熔接金鋼入 ）
		☒ 砂利撒舗装：切込砂利 mm 撒布砂利 mm
③	フェンス	◎ 種別： ◎ ネットフェンス（扉付） ☒ エキスパンドメタルフェンス
		☒ その他（
		◎ 高さ： H= 1800 mm H= mm 一部付け替え有
4	塀	☒ 種別： ☒ 万代塀 ☒ コンクリートブロック塀
		☒ その他（
		☒ 高さ： H= mm
		☒ 仕上： （
5	境界石	☒ 型式： ☒ 歩車道境界用既製ブロック ☒ その他（
6	敷地内排水溝	☒ 種別： 溝 ☒ 既製U字側溝
		☒ 既製L字側溝
		☒ 現場打コンクリート溝
		☒ その他（
		蓋 ☒ コンクリートブロック製
		☒ 鋳鉄製
		☒ その他（ステンレス製
7	植栽	☒ 植栽： 風除け支柱の種類 ☒ 三脚 ☒ 四脚
		☒ 鳥居形
		☒ 補償期間： 新植、移植および芝張りの補償期間
		引渡し日より1年間
		☒ 芝張り： 種別 ☒ 野芝 ☒ 高らい芝
		☒ その他（
		客土 ☒ 不要 ☒ 要 mm

21 その他特記事項（この項目は全て適応）

	項目	内容
1	関係官庁への提出	官庁への届出、本工事に必要な関係官公庁の申請手続きは請負者が行い、
		その費用は請負者の負担とする。

京丹波町立・幼稚園空調設備工事（蒲生野中学校） 設計図			
NON SCALE	SCALE	SCALE	SCALE
特記仕様書2			
DW.	CK.	NO. A−02	DATE 27−03

設計・監理 一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号 野中健一
〒622−0014 京都府南丹市園部町上本町南2−20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

メーカーリスト

工事名	材料名	商品名	会社名等	備考
屋根工事	金属葺		元旦ビューティー工業	
			淀川製作所	
			三晃金属	
	アスファルト防水		ダイフレックス	
			日本アスファルト	
			防水事業共同組合	
			日新工業	
	樋		松下電工	
			積水化学工業	
			タニタハウジングウェア	
金属工事	製作金物		中村益造商店	
			山本金属製作所	
			竹内金物	
	グレーチング		カネソウ	
			日本ピット	
			アトラス	
	既製品手すり		ナカ工業	
			アトラス	
			YM工業	
	アルミパネル		三協アルミ	
			トステム	
			不二サッシ	
	軽鉄下地		マンテン	
			三洋工業	
			日本フェラス工業	
	ピクチャーレール		フクビ化学工業	
			中村多喜弥商店	
			大建工業	
	カーテンレール		住之江織物	
			川島織物	
			フクビ化学工業	
	点検口		ナカ工業	
			日本ピット	
			マンテン	
	OAフロアー		ＩＴＯＫＩ	
			KOKUYO	
			フクビ化学工業	
	既製品笠木		三協アルミ	
			カネソウ	
			ＡＢＣ商会	
	ＥＸＰ．Ｊ		三協アルミ	
			カネソウ	
			ＡＢＣ商会	

工事名	材料名	商品名	会社名等	備考
建具工事	アルミニウム製建具		三協アルミ	
	ＪＩＳ規格品		YKKAP	
			トステム	
	木製建具		高島屋	
			末永製作所	
			西尾家具	
	ガラス		旭硝子アメニテック	
			日本板硝子	
			セントラルガラス	
	建具金物		ユニオン	
			美和ロック	
			ゴール	
	自動ドア		ナブコ	
			三協アルミ	
			トステム	
	シャッター		文化シャッター	
			三和シャッター	
			東洋シャッター	
			東工シャッター	
	トイレブース		小松ウォール	
			KOKUYO	
			ＩＴＯＫＩ	
			文化シャッター	
	アルミ間仕切		小松ウォール	
			KOKUYO	
			ＩＴＯＫＩ	
			文化シャッター	
内装工事	内装工事		吉野石膏	
			ロンシール工業	
			ワーロン	
			日東紡	
			ニチラス	
			東リ	
			東レ	
			ＡＢＣ商会	
			川島織物	
			住之江織物	
			大建工業	
			フクビ化学工業	
			ブリジストン	
			タジマ	
			サンゲツ	
			大日本印刷	
			ＳＩＮＣＯＬ	
			アイカ工業	
			朝日ウッドテック	

工事名	材料名	商品名	会社名等	備考
タイル工事	タイル		ＩＮＡＸ	
			TOTO	
			ダントー	
石工事	石材		奥ヶ原石材	
			安藤大理石	
			矢橋大理石	
外装工事	吹付工事		アイカ工業	
			エスケー化研	
			近庄化学	
	ＡＬＣ工事		クリオン	
			ヘーベル	
			シポレックス	
	サイディング工事		アスク	
			ニチハ	
			クボタ	
	金属サイディング工事		淀川製作所	
			チューオー	
			アイジー工業	

工事名	材料名	商品名	会社名等	備考
雑工事	キッチン		サンウェーブ	
			クリナップ	
			タカラスタンダード	
	洗面台		TOTO	
			ＩＮＡＸ	
			クリナップ	
	衛生陶器		TOTO	
			ＩＮＡＸ	
	化粧鏡		TOTO	
			ＩＮＡＸ	
	タオル掛け・紙巻器		TOTO	
			ＩＮＡＸ	
	ウォールキャビネット		TOTO	
			ＩＮＡＸ	
			クリナップ	
	ユニットバス		TOTO	
			ＩＮＡＸ	
			タカラスタンダード	
	ブラインド		立川ブラインド工業	
			ニチベイ㈱	
			トウソウ㈱	
	カーテン		住之江織物	
			川島織物	
			サンゲツ	
	洗濯機パン		TOTO	
			ＩＮＡＸ	
			ＡＢＣ商会	
	家具		ヤガミ	
			ＩＴＯＫＩ	
			高島屋	
	サイン		ＩＴＯＫＩ	
			メイバン	
			コトブキ	
	ネットフェンス		朝日スチール工業	
			シコク	
			三協アルミ	
	室外機防護フェンス		オーケー器材	
	ホイスト		日立産機システム	
			三菱電機ＦＡ産業機器	
			日本ホイスト	

注記　今回の工事で該当するもののみ参考にしてください。

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（蒲生野中学校）　設計図

NON SCALE	SCALE	SCALE	SCALE
メーカーリスト			
DW.	CK.	NO. A-03	DATE 24-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288　FAX 0771-62-0408

設計概要

工事名称	京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（蒲生野中学校）
工事場所	京都府船井郡京丹波町蒲生八ツ谷６２
主要用途	中学校
用途地域	指定なし
工事期間	発注者作成の特記仕様書に記載
工事規模	ー
工事種別	空調設備設置
工事範囲	本設計図書に示したる全ての範囲［建築・電気設備・機械設備工事］

外部仕上表

屋根		雨樋		下足入	
軒裏		ヒサシ		屋外階段	
外壁		犬走り		屋上ネットフェンス	
基礎・巾木		ポーチ		ベランダ手摺	
建具		スロープ		外構	室外機基礎 室外機保護パネル・ネットフェンス

注記事項

1）本工事は既存改修工事であるので、設計図書に示されていない当然予想される工事・改修・補修・清掃・調整・現状回復等の必要が生じた場合もすべて本工事に含むものとする。学校が開校されている時期に工事を行う時は、生徒・職員・来訪者等の安全に十分注意すること。
2）上記の場合は、施工者・監理者・発注者が協議の上、施工方法・材料・仕様等を決定する。
3）本工事の改修・撤去・清掃等の伴う現状回復のための補修材料は「既存部分と同等品以上」とし監理者の承認を受ける。
4）本工事に新たに使用する仕上材・下地材等が発生した場合は原則的に全てＦ☆☆☆☆認定品を使用すること。

共通事項

内部仕上表

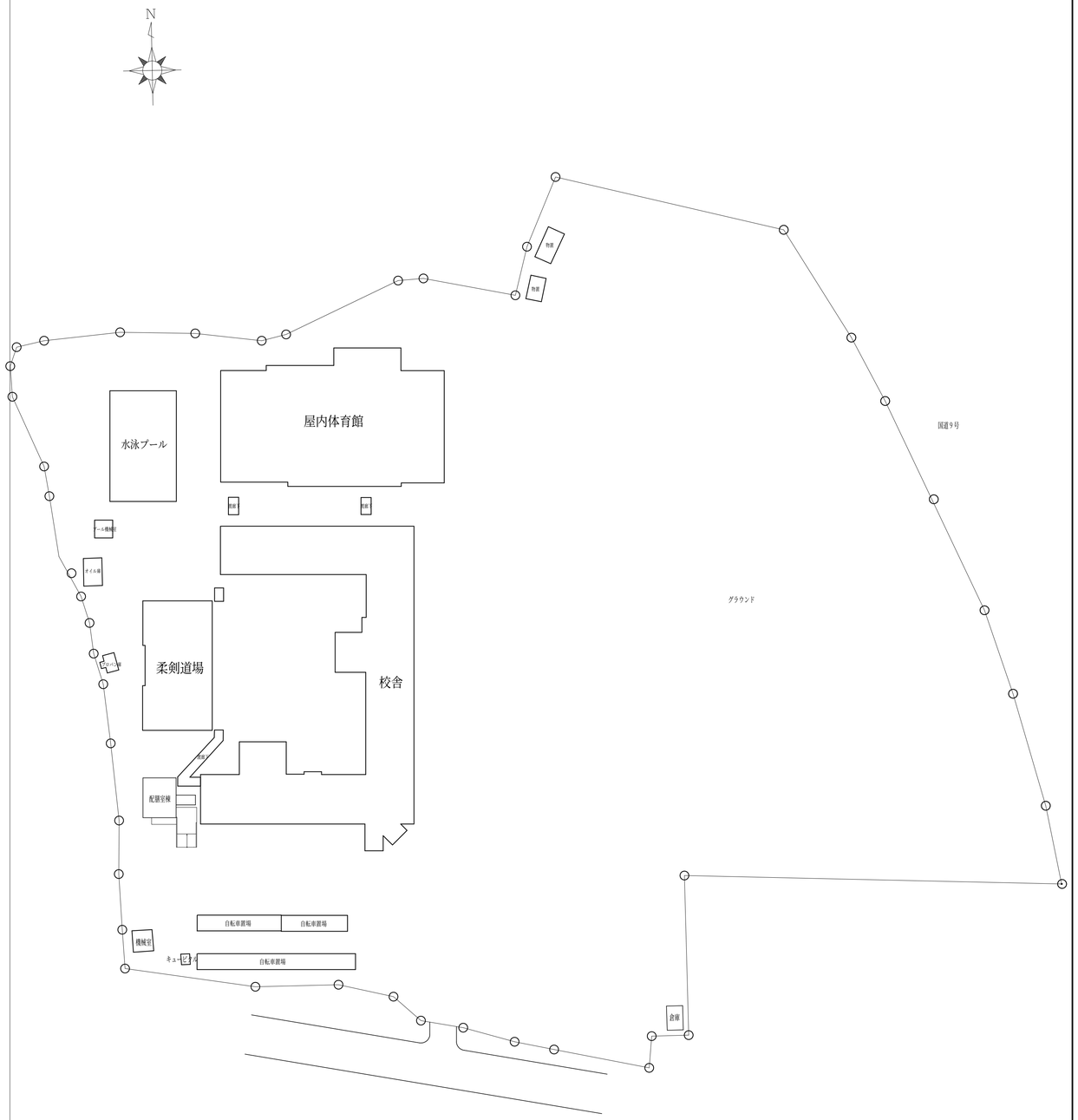
階	室名	床 施工範囲	床 仕上	床高	巾木	腰壁 施工範囲	腰壁 仕上	腰高	壁 施工範囲	壁 仕上	天井 施工範囲	天井 仕上	天井高さ	廻り縁	備考
	普通教室											ジプトーン９　脱着のみ			アルミパネル・アルミガラリ
	特別教室											有孔石膏ボード９．５底目貼　脱着のみ			アルミパネル・アルミガラリ
	会議室								北面のみ	ＯＳ塗　既存壁（ラワン合板）の上					

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（蒲生野中学校）　設計図

NON SCALE	NON SCALE	NON SCALE	SCALE
設計概要	外部仕上表	内部仕上表１	
DW.	CK.	NO. A-01	DATE 27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
１級建築士第１４７９３１号　野中健一
〒６２２－００１４　京都府南丹市園部町上本町南２－２０
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

附近見取図



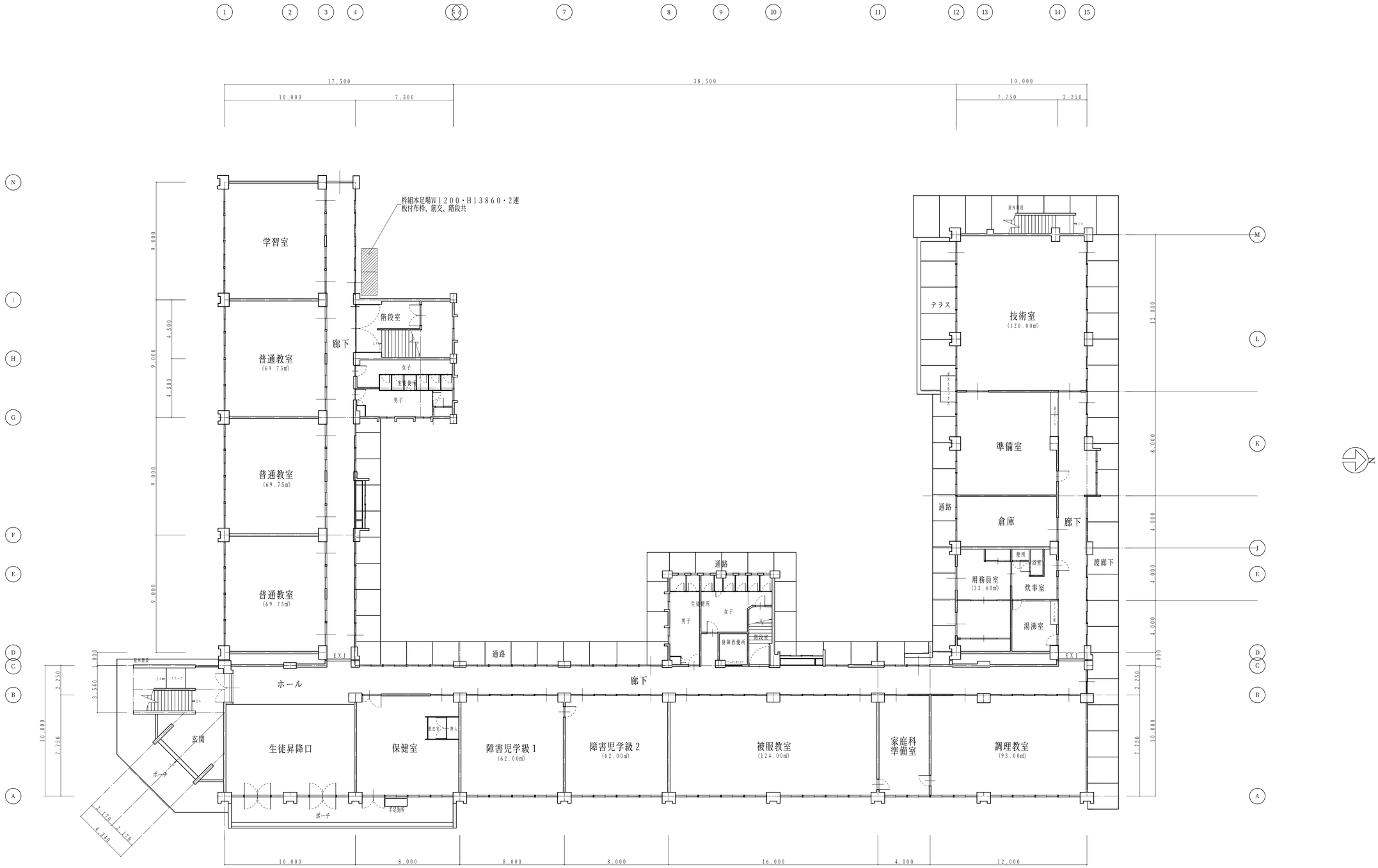
配置図

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（蒲生野中学校）　設計図

1/2500 SCALE	1/400 SCALE	SCALE
附近見取図	蒲生野中学校配置図	

DW.	CK.	NO.	DATE
		A-05	27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（蒲生野中学校） 設計図			
1/100 SCALE		SCALE	SCALE
蒲生野中学校外部足場1階平面図			
DW.	CK.	NO. A-06	DATE 27-03

設計・監理 一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号 野中健一
〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

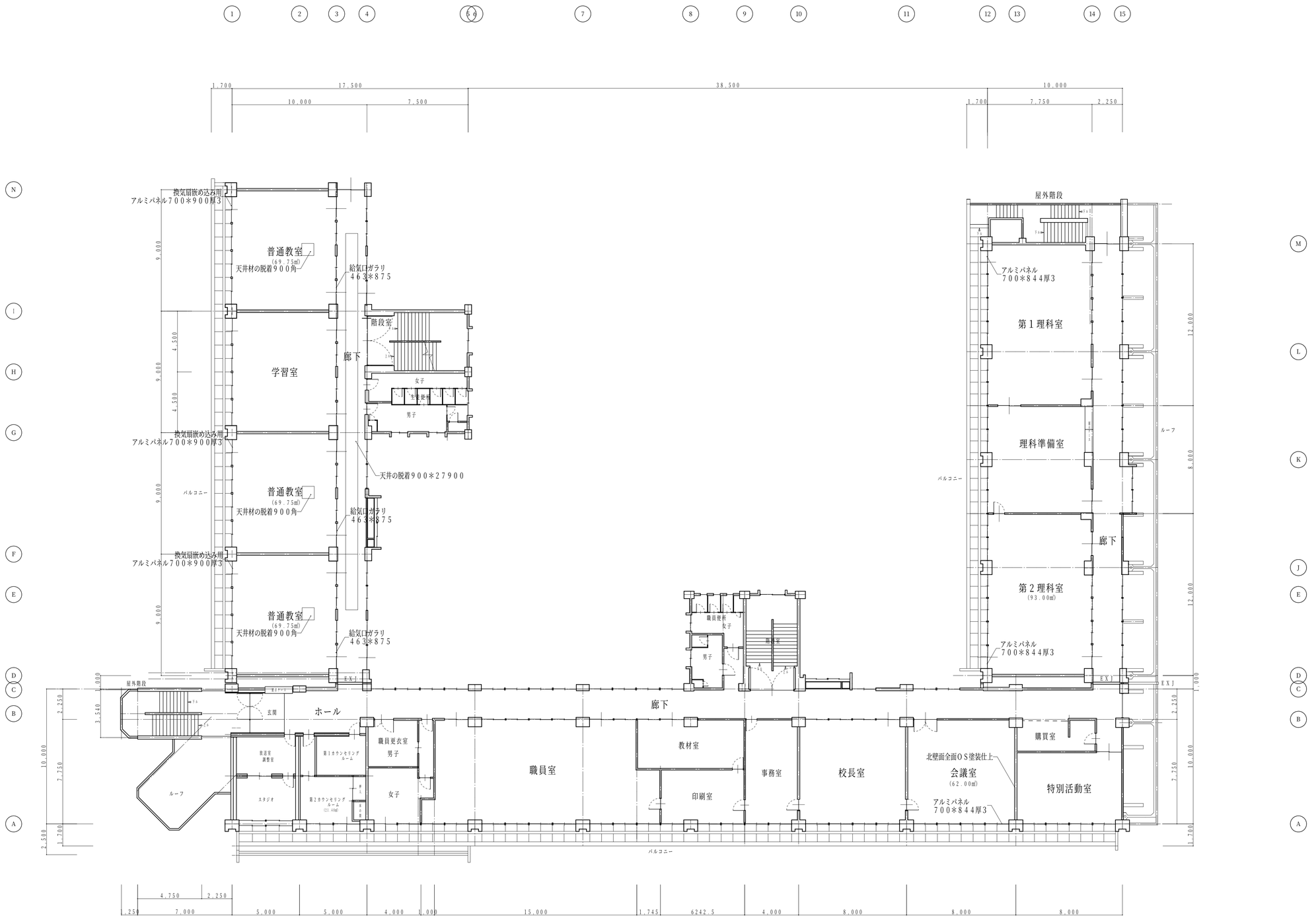
京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（蒲生野中学校）　設計図

1:150 SCALE

蒲生野中学校室外機基礎・室外機囲いフェンス・換気扇用アルミパネル、ガラリ・天井脱着１階平面図

DW.	CK.	NO.	DATE
		A-07	27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
１級建築士第１４７９３１号　野中健一
〒６２２－００１４　京都府南丹市園部町上本町南２－２０
TEL ０７７１-６２-０２８８　FAX ０７７１-６２-０４０８



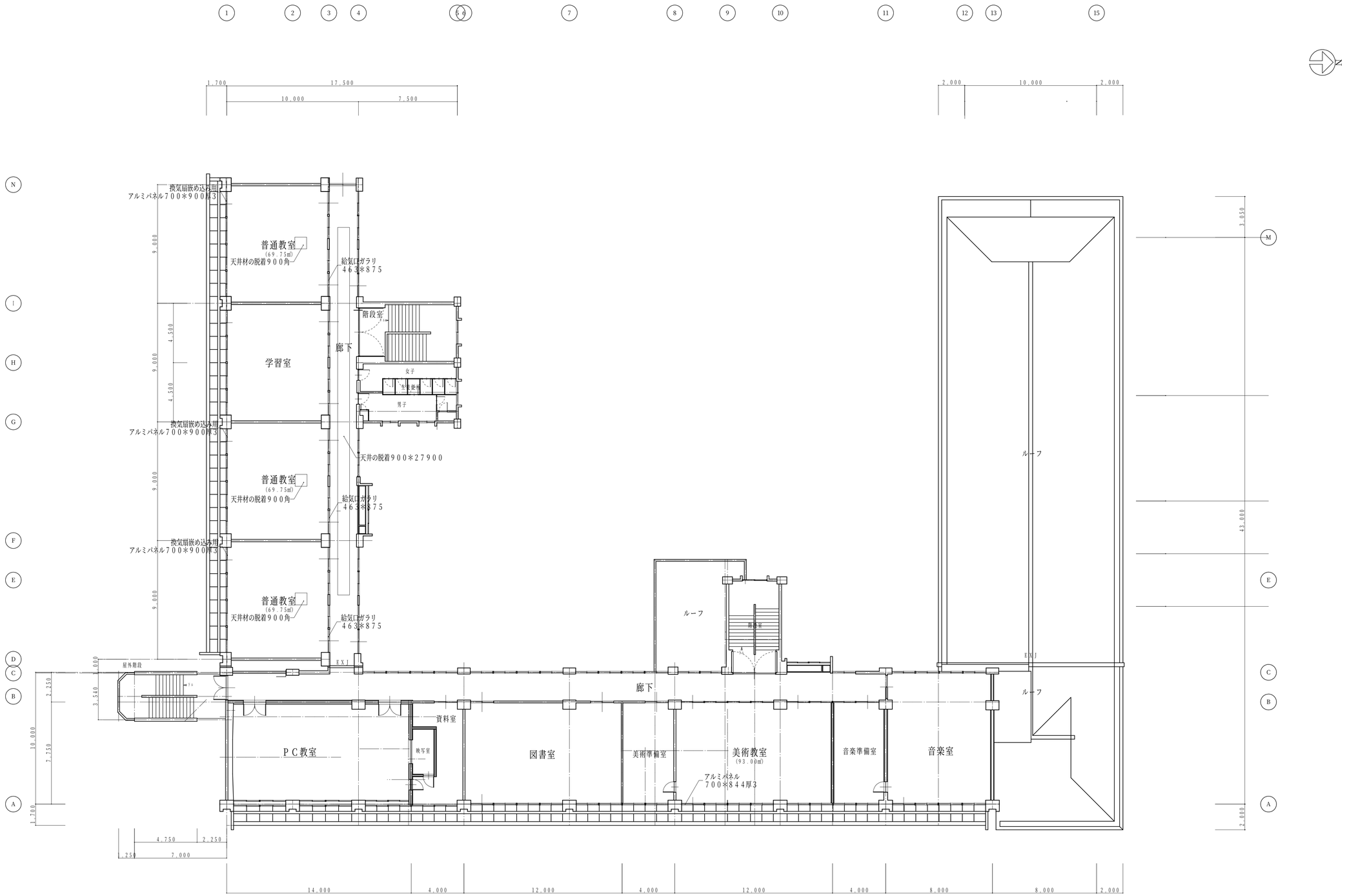
京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（蒲生野中学校）　設計図

蒲生野中学校換気用アルミパネル、ガラリ・天井脱着２階平面図

1:100 SCALE

DW.	CK.	NO.	DATE
		A-08	27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20
TEL 0771-62-0288　FAX 0771-62-0408



京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（蒲生野中学校）　設計図

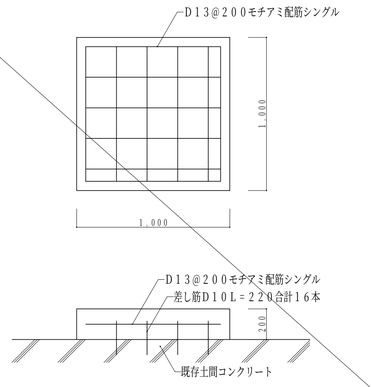
蒲生野中学校換気用アルミパネル、ガラリ・天井脱着３階平面図

1/100 SCALE

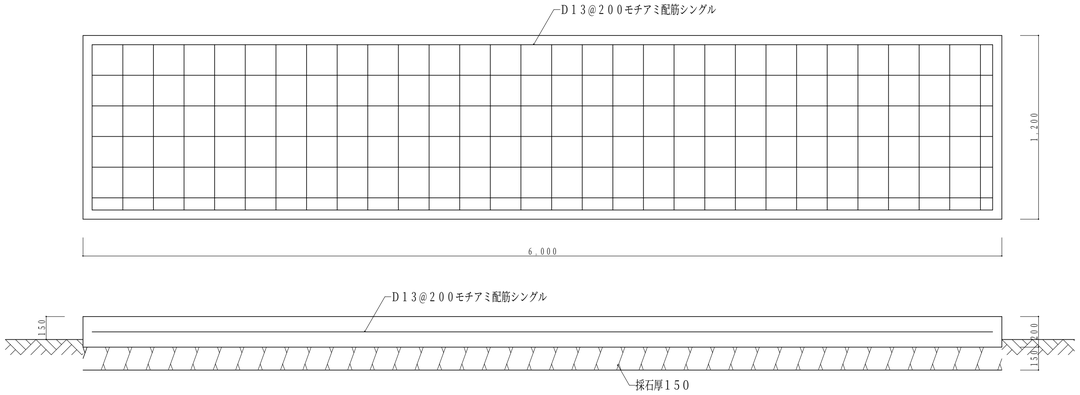
DW.	CK.	NO.	DATE
		A-09	27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622-0014　京都府南丹市園部町上本町南2-20
TEL 0771-62-0288　FAX 0771-62-0408

和知中室外機基礎1／20

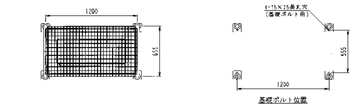


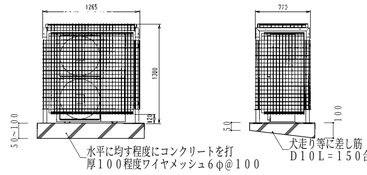
蒲生中室外機基礎1／20



蒲生中・須知幼稚園室外機基礎及び保護パネル1／40

材　質：(支柱) STK400 φ42.7
(ネット) 亜鉛メッキ鉄線SWMGH 3
φ3.5, 40mm×50mm
表面処理：(支柱) フェノール樹脂(ホワイト)
(ネット) ドット樹脂… ト(白ホワイト)



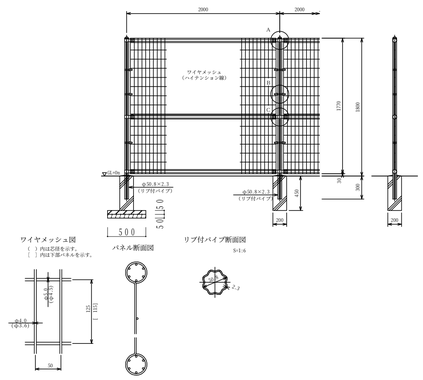


適用品番	構成品番	質量
K-PK3Q	K-PK3Q1	40kg
	K-PK3Q2	
	K-PK3Q3	

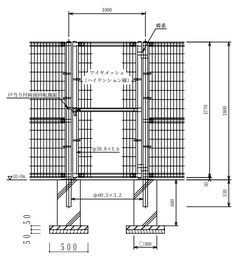
●K-PK3Qは、セット品番です。
セット一式に構成品番がたります。

蒲生中室外機フェンス1／40

UN−A1800L−50
(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に長る)

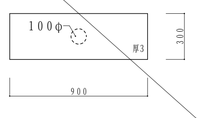


UN片開き門扉
H1800−40×W1000　S=1:20
(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に長る)



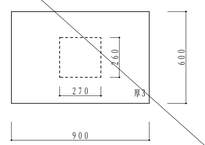
和知中配管用アルミパネル　1／20

300*900厚3　10枚



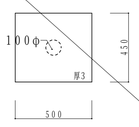
和知中換気扇嵌め込み用アルミパネル　1／20

600*900厚3　3枚
加工穴の大きさはメーカー承認図を参考に決定すること



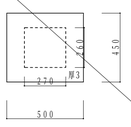
瑞穂中配管用アルミパネル　1／20

450*500厚3　14枚



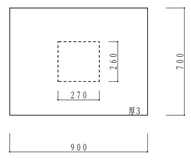
瑞穂中換気扇嵌め込み用アルミパネル　1／20

450*500厚3　6枚
加工穴の大きさはメーカー承認図を参考に決定すること



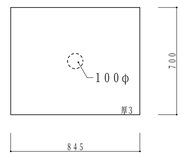
蒲生野中換気扇埋め込み用アルミパネル　1／20

700*900厚3　9枚
加工穴の大きさはメーカー承認図を参考に決定すること



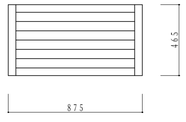
蒲生野中配管用アルミパネル　1／20

700*844厚3　10枚



蒲生野中防虫網付給気口ガラリ　1／20

463*875　9枚



使用材料
鉄筋　SD295A
コンクリート Fc=21

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（蒲生野中学校）　設計図			
1／20 SCALE	SCALE	SCALE	SCALE
部分詳細図			
DW.	CK.	NO. A-10	DATE 27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20
TEL 0771-62-0288　FAX 0771-62-0408

電気設備工事特記仕様書　No.1

【工事概要】

1　工事場所　京丹波町蒲生八ッ谷６２番地

2　建物概要

建物名	構造	階数	延床面積（ｍ²）	消防法令別表第一	備考
蒲生野中学校	RC	3			

3　工事科目　　●印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目＼建物名称	蒲生野中学校		
電灯設備	●		
動力設備	●		
雷保護設備	○		
受変電設備	●		
電力貯蔵設備	○		
発電設備	○		
構内情報通信網設備	○		
構内交換設備	○		
情報表示設備	○		
映像・音響設備	○		
拡声設備	○		
誘導支援設備	○		
テレビ共同受信設備	○		
監視カメラ設備	○		
駐車場管制設備	○		
防犯・入退室管理設備	○		
自動火災報知設備	○		
中央監視制御設備	○		
	○		
	○		
構内配電線路	○		
構内通信線路	○		
	○		
電波障害調査	○		
撤去工事	○		

【特記事項】

1　一般事項

1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成二十五年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）平成二十五年版」（以下、「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）平成二十二年版」による。

2）工事種目に機械設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。

2　特記事項

項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

章	項目	特記事項
	●設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。また、〔グ〕印は「京都府庁グリーン調達方針◆」（以下、「グリーン調達 ◆」という。）の特定調達品目を示す。 ◆京都府庁ホームページ参照〈http://www.pref.kyoto.jp/zaisan/kankyo.html〉
	●機材の品質・性能証明	使用する機材が、（財）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（平成２２年版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編第1章第4節1．4．2（ｂ）の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	○グリーン調達適合品の確認	グリーン調達適合品の証明を監督職員に提出する。 ○蛍光灯照明器具　　○ランプ　　○
	●現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に規定する現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、請負者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	●電気工事士	契約電力500ｋW以上の場合も、第1種電気工事士による施工を行う。
	●工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて請負者の負担とする。
	●官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて請負者の負担とする。
	●工事用仮設物	構内につくることが　※できる　　○できない
	●足場・さん橋類	別契約の関係者・請負者が定置したものは、無償で使用できる。
	○監督職員事務所	※設置しない　　○設置する　（○本工事　　○別途）
	●監督職員事務所に備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ⊙公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）　⊙公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） ⊙電気設備工事監理指針　⊙電気設備工事施工チェックシート ⊙建築設備耐震設計施工指針　⊙工事写真の撮り方（改訂2版）－建築設備編－ ⊙公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
	○建設副産物の処理及び建設発生土の処理	○建設副産物の処理　右記のほか、現場説明書による。 ○引き渡しを要するもの　【　　】 ○再生資源利用を図るもの【　　】 ○特別管理産業廃棄物 ○ＰＣＢ使用機器　○ＳＦ６ガス使用機器　○ ○建設発生土処分　右記のほか、現場説明書による。 ○構外指定地に搬出処理　※（財）城陽山城砲利採取地整備公社　○ ○構内指示場所に敷き均し ○構外搬出適切処理 ○再生資源利用促進計画書等の作成・提出　建設副産物において、発生量の多少に係わらず、再生資源利用促進計画書（建設副産物対策近畿地方連絡協議会）について、施工計画書に含めて提出する。また、実績については再生資源利用促進施書として提出する。 1）「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理計画書」を監督職員に提出する。 2）関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設発生土処理計画書」及び「廃棄物処理報告書」により監督職員に報告する。 ○アスベスト成形板の処理等 施工調査　アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認 ・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認 確認範囲　※成形板の製造年等の確認　○X線解析法 処理方法　※非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。

章	項目	特記事項
一般事項	●工事関係書類	営繕工事契約関係提出書類書式集◆一覧表により提出。 ◆京都府ホームページ参照　〈http://www.pref.kyoto.jp/eizen/index.html〉
	●履行報告	月報　※2部　○3部　毎月末に〆め、翌月の5日までに提出する。
	●工事写真	1）建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂2版）－建築設備編－」による。 2）工事完成時、整理の上、1部提出する。 3）デジタル カメラで撮影可とする。
	●完成図書	名称／内容／大きさ／部数 ●完成図　金文字製本　A4版　1部 ●完成図　●背貼り製本（A1版）　○A4ファイル止め　2部 ●施工図　●背貼り製本（A1版）　○A4ファイル止め　2部 ●機器完成図等　機器製作図　ファイル止め　保守指導案内書（機器取説書を含む）　機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書　A4版　2部 ●諸官庁提出書類　副本　1式 ●原図　完成図・施工図　1部 ●完成写真　アルバム綴り　2部 電子納品については、現場説明書による。
	●著作権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
	●付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表1による。
共通事項	●耐震施工	1）設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」による。 2）下記の設計用水平震度（ＫＨ）により、機器製作固定を行う。 設置場所／○特定の施設（重要機器／一般機器）／●一般の施設（重要機器／一般機器） 上層階、屋上及び塔屋　2.0(2.0)　1.5(2.0)　1.5(2.0)　1.0(1.5) 中間階　1.5(1.5)　1.0(1.5)　1.0(1.5)　0.6(1.0) 1階及び地下階　1.0(1.0)　0.6(1.0)　0.6(1.0)　0.4(0.6) 設置場所／○特定の施設　水槽／○一般の施設　水槽 上層階、屋上及び塔屋　2.0　1.5 中間階　1.5　1.0 1階及び地下階　1.5　1.0 注1　（　）内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。 注2　設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1／2とする。 注3　上層階の定義は、6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上階2階。 注4　重要機器（水槽類）は、下記による。（水槽類にはオイルタンク等を含む。） ○配電盤　○直流電源装置　○自家発電装置　○交換機　○電算用電源　○中央監視装置　○ＵＰＳ装置　○自動火災報知装置
	○風圧力に対する性能	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分 Ｖｏ（○30　○32　○34）　地表面粗度区分（○Ⅰ　○Ⅱ　○Ⅲ　○Ⅳ）
	○風圧力（耐風力）	建築基準法施行令第87条に定めるところによる風圧力（耐風力）検討（計算）書を監督職員に提出する。なお、検討（計算）範囲には、それぞれの取付部分を含めるものとする。 ○受雷部システム及び引下げ導線システム　○太陽光発電装置　○風力発電装置 ○テレビ共同受信用アンテナ及びアンテナマスト　○
	●電線類	1）特記なきものは、EM－IEとする。 2）EM電線、EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。 EM-CEE-S：JCS4258（制御用ケーブル（遮へい付））に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの EM－アクセスフロア：JCS4502（600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンシースケーブル）による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（EM－EE）及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（EM－CE）を示す。 EM-MEES：JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの 3）長さ1m以上の通線を行わない配管には、導入線（樹脂被覆鉄線等）を挿入する。
	●電線管	電線管　※PF管　ただし、露出部分は鋼製電線管とする。分電盤等の2次側で第1ボックスまでは（※鋼製電線管○PF管）とする。 ○ねじなし電線管　●ねじつき電線管 1）雨線外及び湿気の多い場所または水気のある場所に使用する露出電線管は、厚鋼電線管とする。 2）スラブ厚の1／4を越える外径の配管及び（PF22）又は（31）相当を越えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。 最上階の埋込配管　最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。 屋外及び屋内の露出配管は塗装（指定色塗装）を行う。
	●電線本数、管路等	分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更することができる。
	○ボックス	PF管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。
	○予備配管	分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合（25）を1本、5個以上の場合（25）を2本天井内まで立上げる。ケーブルラックの防火貫通部に（51）を1本以上立上げる。
	○フラッシュプレート	和室　※樹脂製　○金属製（※新金属製　○ステンレス製） その他　○樹脂製　※金属製（※新金属製　○ステンレス製）
	○フロアプレート・ベース	水平高低調整式（空転防止リング付、ＯＡフロアー部分を除く）とする。 ※砲金製　○アルミ合金製
	●機器	寸法　盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。 接続　電動機への接続は、本工事とする。 アンカーボルト　アンカーボルト及びナットは、下記による。 屋外・多湿室等　（※溶融亜鉛メッキ　●SUS） その他　（※一般品　○　　）
	●機器内配線等	下記の機器内配線及びケーブルには、EM電線及びEMケーブルを使用する。 ただし、高圧主回路配線はこの限りでない。 ○分電盤　○ＯＡ盤　○実験盤　●開閉器箱　○制御盤 ○キュービクル式配電盤　○直流電源装置　○交流無停電電源装置（ＵＰＳ） ○

章	項目	特記事項
共通事項	●はつり	1）既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2）復旧はモルタル補修及び、金属管・ケーブル用貫通部処理材とする。
	○再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛かり部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。
	○その他	屋外の盤類・開閉器箱　※SUS　○鋼板製 プルボックス　※SUS　○鋼板製
電灯設備	○工事範囲	●配管　●配線　●機器取付
	○電気方式	幹線　○単相3線式　100V／200V　○直流2線式　100V 分岐　●単相2線式　●100V　●200V　○直流2線式　100V
	○照明制御による効果の評価	社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。
	○照明制御装置〔グ〕	照明制御装置の各センサー設定は、監督職員の指示による。センサー設定器を附属させる。
	○多重伝送制御システム	多重伝送制御システムの設定は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる。
	○蛍光ランプ	蛍光灯照明器具の安定器回路方式及び電圧は、標準図及びJIL5004－2009「公共施設用照明器具」に指定のあるもの、図面特記があるものを除き下記による。 蛍光灯の種類／回路方式／電圧（Ｖ） 環形（ホームライトを除く）　GH　100 直管形　15形以下　GL　100 20形（防雨形・防湿形・電池内蔵形非常照明）　GL　100 20形（上記以外のもの）　GH(EH)　100 〔グ〕Hf形　FHF16形　PH　○100 ○200 FHF32形　○PN ○PH　○100 ○200 コンパクト形〔グ〕Hf形　FHT24形, FHT32形, FHT42形, FHP32形, FHP45形　PN　○100 ○200
	○RP又はMP形照明器具	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、ＳＵＳを含む複数の材料が適用されている場合は、ＳＵＳを適用する。
	○非常用照明の形式	○電池内蔵形　○電池別置形
	○フロアコンセント	○引出し形　○飛び出し形　○内部固定形　○外部固定形　○ＯＡフロアー用
	○分電盤等	本工事の分電盤、ＯＡ盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、JIS C 8201-2-1「回路遮断器」、同付属書XC「電灯分電盤用協約形回路遮断器」による。 特記なき場合、分岐に用いる2極の配線用遮断器及び漏電遮断器は、1極サイズのものとする。 ＯＡ盤の端子部に　○通気口　○冷却ファン　を設ける
動力設備	●工事範囲	●配管　●配線　○機器取付
	●電気方式	幹線　●三相3線式　200V　○ 分岐　●三相3線式　200V　○
	○制御盤	単位ユニットの電流計は負荷端子の手前に接続する。制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。
	○監視方法	○警報盤による代表監視　○中央監視制御装置による監視
	○インターロック	自動火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して、空調機を停止させる。
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 電動機出力（kW）／0.4／0.75／1.5／2.2／3.7／5.5／7.5 効率（%）／85.0／87.0／88.5／89.5／90.0／90.5／91.0 電動機出力（kW）／11／15／18.5／22／30／37／45 効率（%）／91.5／92.0／92.5／93.0／93.5／94.0／94.5 備考）1）電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2）インバータ 効率は、100%負荷時の値とする。
雷保護設備	○工事範囲	○外部雷保護システム（○受雷部システム　○引下げ導線システム　○接地システム） ○内部雷保護システム
	○保護レベル	○Ⅰ　○Ⅱ　○Ⅲ　○Ⅳ
	○受雷部システム	突針支持管　※鋼製　○ステンレス製
	○接地システム	○A型 接地極（○板状接地極　○垂直接地極　○放射状接地極） ○B型 接地極（○環状接地極　○網状接地極）
受変電設備	●工事範囲	○配管　●配線　●機器取付
	○電気方式	高圧　三相3線式　6kV 低圧　●三相3線式200V　○単相3線式100V／200V　○三相3線式　V　○三相4線式　V／　V
	●配電盤形式（既設）	○屋内キュービクル式配電盤　●屋外キュービクル式配電盤　○開放形配電盤 ○高圧スイッチギア（　）　○変圧器盤　○コンデンサ盤 ○低圧スイッチギア　○系統連系保護制御盤
	●変圧器の規格	変圧器の規格は次による。 ただし、スコット結線変圧器、モールド変圧器でH絶縁材料を使用するものは除く。 ●油入変圧器　単相・三相　JEM 1482・JIS C 4304〔グ〕 ○モールド変圧器（絶縁種別 F）　単相・三相　JEM 1483・JIS C 4306〔グ〕
	○監視方式	○警報盤による代表監視　○中央監視制御装置による監視
	○基礎	○本工事　○建築工事　○既設
	○付属品等	盤内に予備限流ヒューズを収納する。
	○その他	○低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板組込形で埋込形とする。 ○低圧配電盤の裏面に負荷側引出し用端子を設ける。 ○低圧配電盤に内部点検空間を設ける。（幅600mm以上・高さ1，800mm以上） ○充電標示器は、断路器の1次側の適切な場所に設ける。

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校)　設計図

NS　SCALE　SCALE

電気設備工事特記仕様書

DW.　CK.　NO. E-01　DATE 27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622－0014　京都府南丹市園部町上本町南2－20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

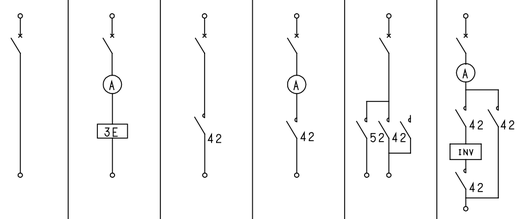
動力制御盤リスト　分岐開閉器及び配管配線は参考とし，採用する機器メーカー推奨容量とすること。

盤名称 盤形式	幹線番号	幹線サイズ	電気方式 主幹サイズ	回路番号	機器番号	負荷名称	容量 消費電力 (KW)	相数電圧 (φ-V)	配線 主回路	配線 操作回路	インターロック連動	分岐 MCB	分岐 ELB	分岐 極数 AF/AT	配線サイズ	配管サイズ	制御盤 表示 発停	制御盤 表示 状態	制御盤 表示 故障	制御盤 表示 満水	制御盤 表示 減水	監視盤 表示 発停	監視盤 表示 状態	監視盤 表示 故障	監視盤 表示 満水	監視盤 表示 減水	特記備考
空調開閉器盤 屋外壁掛型	MAC1	EM-CET100sq-3C EM-IE 38sq	合計容量 48.60 KW W F AC MCB 3P 225/200	MAC1		新設動力盤 M-AC-1-1	48.60	3-200	A																		
	MAC2	EM-CET150sq-3C	合計容量 35.42 KW W F AC MCB 3P 225/150	MAC2		新設動力盤 M-AC-1-2	35.42	3-200	A																		
	MAC3	EM-CET100sq-3C	合計容量 20.02 KW W F AC MCB 3P 100/75	MAC3		新設動力盤 M-AC-2-1,3-1	26.83	3-200	A																		
M-AC-1-1 屋外壁掛型	MAC1	EM-CET100sq-3C EM-IE 38sq	W F AC MCB 3P 225/200 合計容量 48.60 KW	M1	PAC-1	1階 普通教室 空調室外機	16.20	3-200	A				○	3P 100/75	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	CP31（被覆付 F30）											
				M2	PAC-2	2階 普通教室 空調室外機	16.20	3-200	A				○	3P 100/75	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	CP31（被覆付 F30）											
				M3	PAC-3	3階 普通教室 空調室外機	16.20	3-200	A				○	3P 100/75	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	CP31（被覆付 F30）											
M-AC-1-2 屋内壁掛型	MAC2	EM-CET150sq-3C EM-IE 38sq	合計容量 35.42 KW W F AC MCB 3P 225/150	M1	ACP-1	1階 技術室 空調室外機	6.81	3-200	A				○	3P 50/40	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	CP31（被覆付 F30）											メーカー指定最少サイズ EM-CE8sq-3C
				M2	ACP-1	1階 調理教室 空調室外機	6.81	3-200	A				○	3P 50/40	EM-CE8sq-3C EM-IE2.0mm	CP31（被覆付 F30）											
				M3	ACP-2	1階 障害児学級1 空調室外機	6.40	3-200	A				○	3P 50/30	EM-CE5.5sq-3C EM-IE2.0mm	CP25（被覆付 F24）											
				M4	ACP-2	1階 障害児学級2 空調室外機	6.40	3-200	A				○	3P 50/30	EM-CE5.5sq-3C EM-IE2.0mm	CP25（被覆付 F24）											
				M5	ACP-3	1階 被服教室 空調室外機	9.00	3-200	A				○	3P 50/50	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	CP31（被覆付 F30）											
M-AC-2-1 屋内壁掛型	MAC3 分岐	EM-CET38sq-3C EM-IE 14sq	W F AC MCB 3P 100/60 合計容量 13.21 KW	M1	ACP-1	2階 第一理科室 空調室外機	6.81	3-200	A				○	3P 50/40	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	CP31（被覆付 F30）											メーカー指定最少サイズ EM-CE8sq-3C
				M2	ACP-2	2階 第2理科室 空調室外機	6.40	3-200	A				○	3P 50/30	EM-CE5.5sq-3C EM-IE2.0mm	CP25（被覆付 F24）											
M-AC-3-1 屋内壁掛型	MAC3 分岐	EM-CET38sq-3C EM-IE 14sq	合計容量 6.81 KW W F AC MCB 3P 50/40	M1	ACP-1	3階 美術教室 空調室外機	6.81	3-200	A				○	3P 50/40	EM-CE8sq-3C EM-IE2.0mm	CP31（被覆付 F30）											

動力制御盤リスト

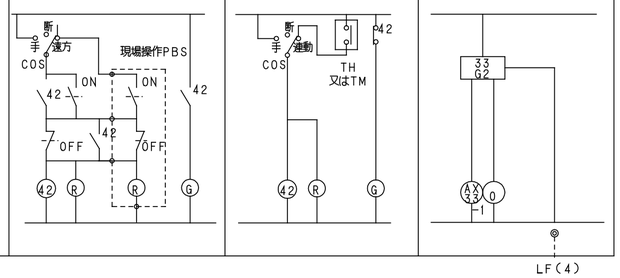
主回路

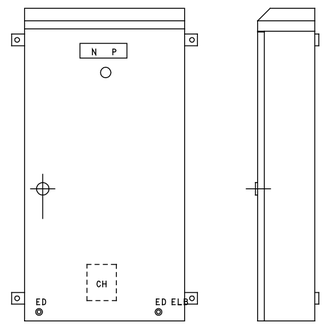
A 直入	B 直入	C 直入始動	D 直入始動	E スターデルタ	F インバーター



制御回路

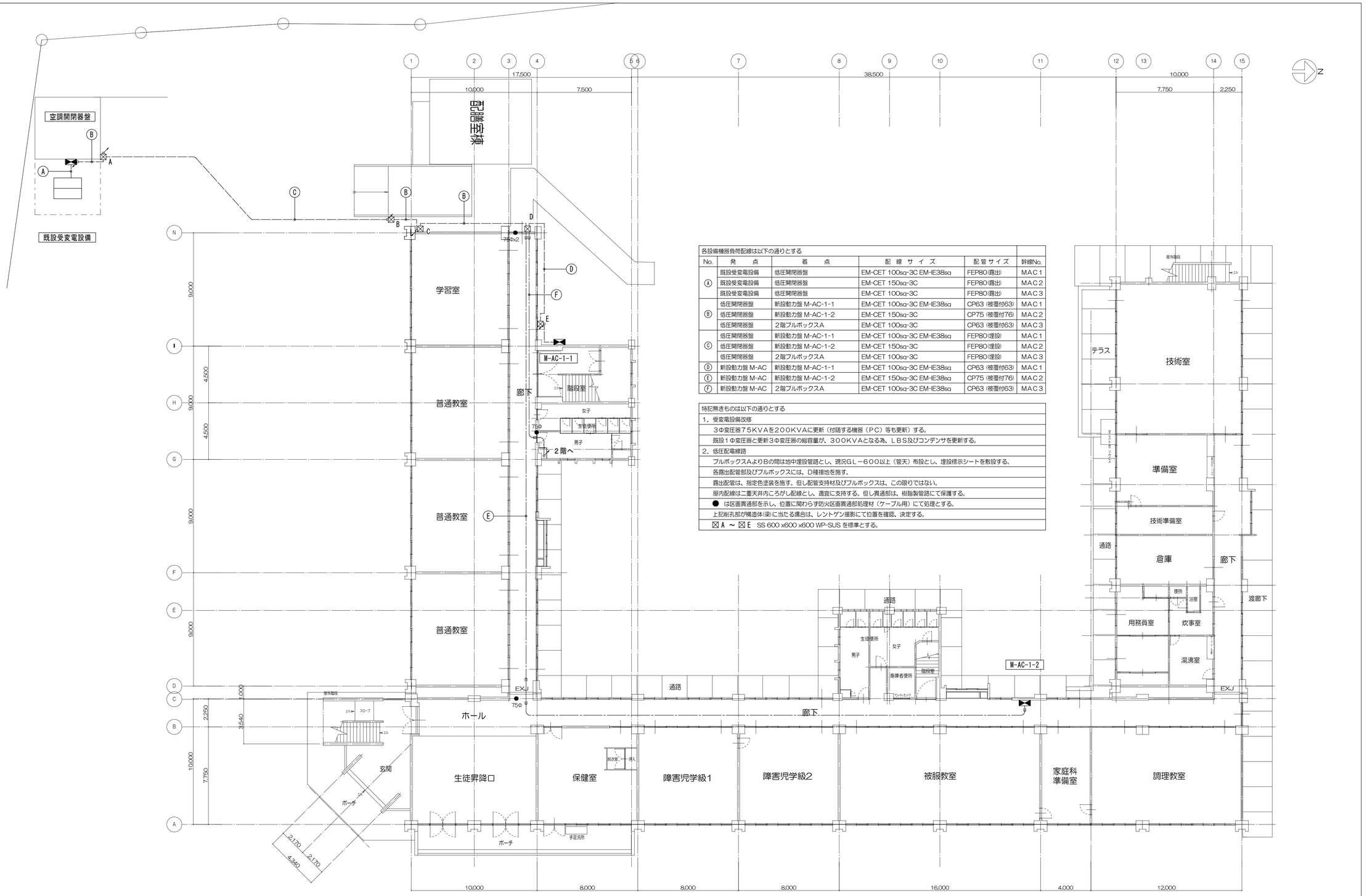
a 遠方操作回路	b 連動回路等	c 液面制御警報回路





空調動力盤の仕様等は以下の通りとする
箱体は鋼板製とし、屋外用及び屋内用共、塗装色はメーカー標準色とする。
屋外型には、壁面支持用金具（図の通り）を設け、支持材等はステンレス製を使用する。
屋外用及び屋内用共に、支持材のボルト等は9mm以上とし、またメーカー推奨サイズにより、支持固定する。
箱体には、D種接地を施す。
分岐回路配線には、D種接地を施す。
分岐開閉器及び配管配線は参考とし，採用する機器メーカー推奨容量とすること。

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校)　設計図			設計・監理　一級建築士事務所 野中建築設計事務所 1級建築士第147931号　野中健一
N.S　SCALE	SCALE	SCALE	
空調動力盤仕様図			〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408
DW.	CK.	NO. E-02	DATE 27-03



各設備機器負荷配線は以下の通りとする					
No.	発　点	着　点	配 線 サ イ ズ	配管サイズ	幹線No.
Ⓐ	既設受変電設備	低圧開閉器盤	EM-CET 100sq-3C EM-IE38sq	FEP80(露出)	MAC１
	既設受変電設備	低圧開閉器盤	EM-CET 150sq-3C	FEP80(露出)	MAC２
	既設受変電設備	低圧開閉器盤	EM-CET 100sq-3C	FEP80(露出)	MAC３
Ⓑ	低圧開閉器盤	新設動力盤 M-AC-1-1	EM-CET 100sq-3C EM-IE38sq	CP63 (被覆付63)	MAC１
	低圧開閉器盤	新設動力盤 M-AC-1-2	EM-CET 150sq-3C	CP75 (被覆付76)	MAC２
	低圧開閉器盤	２階プルボックスA	EM-CET 100sq-3C	CP63 (被覆付63)	MAC３
Ⓒ	低圧開閉器盤	新設動力盤 M-AC-1-1	EM-CET 100sq-3C EM-IE38sq	FEP80(埋設)	MAC１
	低圧開閉器盤	新設動力盤 M-AC-1-2	EM-CET 150sq-3C	FEP80(埋設)	MAC２
	低圧開閉器盤	２階プルボックスA	EM-CET 100sq-3C	FEP80(埋設)	MAC３
Ⓓ	新設動力盤 M-AC	新設動力盤 M-AC-1-1	EM-CET 100sq-3C EM-IE38sq	CP63 (被覆付63)	MAC１
Ⓔ	新設動力盤 M-AC	新設動力盤 M-AC-1-2	EM-CET 150sq-3C EM-IE38sq	CP75 (被覆付76)	MAC２
Ⓕ	新設動力盤 M-AC	２階プルボックスA	EM-CET 100sq-3C EM-IE38sq	CP63 (被覆付63)	MAC３

特記無きものは以下の通りとする

1．受変電設備改修

　３Φ変圧器７５ＫＶＡを２００ＫＶＡに更新（付随する機器（ＰＣ）等も更新）する。

　既設１Φ変圧器と更新３Φ変圧器の総容量が、３００ＫＶＡとなる為、ＬＢＳ及びコンデンサを更新する。

2．低圧配電線路

　プルボックスＡよりＢの間は地中埋設管路とし、現況ＧＬ－６００以上（管天）布設とし、埋設標示シートを敷設する。

　各露出配管部及びプルボックスには、Ｄ種接地を施す。

　露出配管は、指定色塗装を施す。但し配管支持材及びプルボックスは、この限りではない。

　屋内配線は二重天井内ころがし配線とし、適宜に支持する。但し貫通部は、樹脂製管路にて保護する。

　●　は区画貫通部を示し、位置に関わらず防火区画貫通部処理材（ケーブル用）にて処理とする。

　上記削孔部が構造体(梁)に当たる場合は、レントゲン撮影にて位置を確認、決定する。

　⊠Ａ ～ ⊠Ｅ　SS 600 x600 x600 WP-SUS を標準とする。

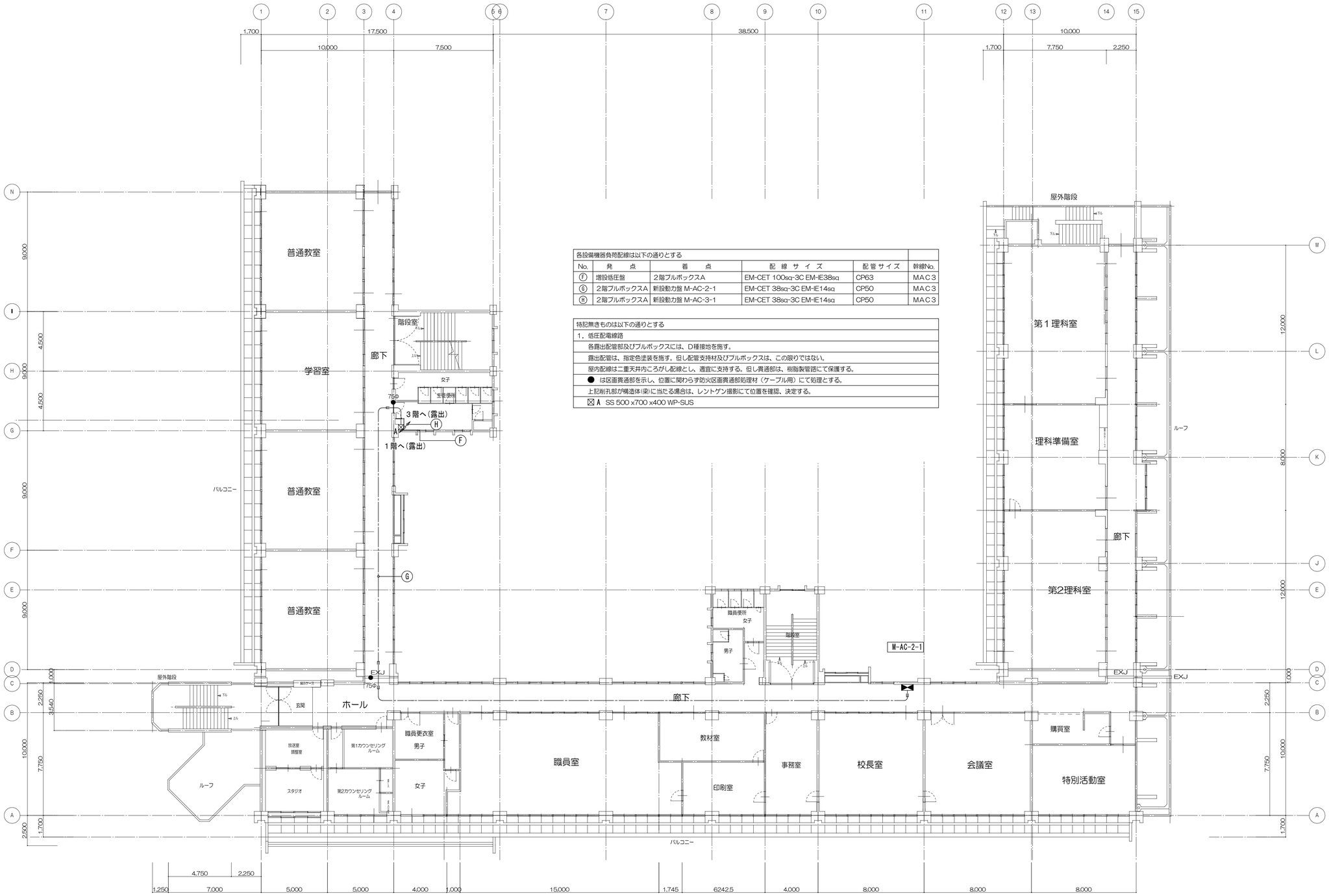
京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校) 設計図

1:100　SCALE　　SCALE

幹線設備　１階平面図

DW.	CK.	NO.	DATE
		E-03	27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
１級建築士第１４７９３１号　野中健一
〒６２２－００１４　京都府南丹市園部町上本町南２－２０
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



各設備機器負荷配線は以下の通りとする					
No.	発　点	着　点	配 線 サ イ ズ	配管サイズ	幹線No.
Ⓕ	増設低圧盤	2階プルボックスA	EM-CET 100sq-3C EM-IE38sq	CP63	MAC3
Ⓖ	2階プルボックスA	新設動力盤 M-AC-2-1	EM-CET 38sq-3C EM-IE14sq	CP50	MAC3
Ⓗ	2階プルボックスA	新設動力盤 M-AC-3-1	EM-CET 38sq-3C EM-IE14sq	CP50	MAC3

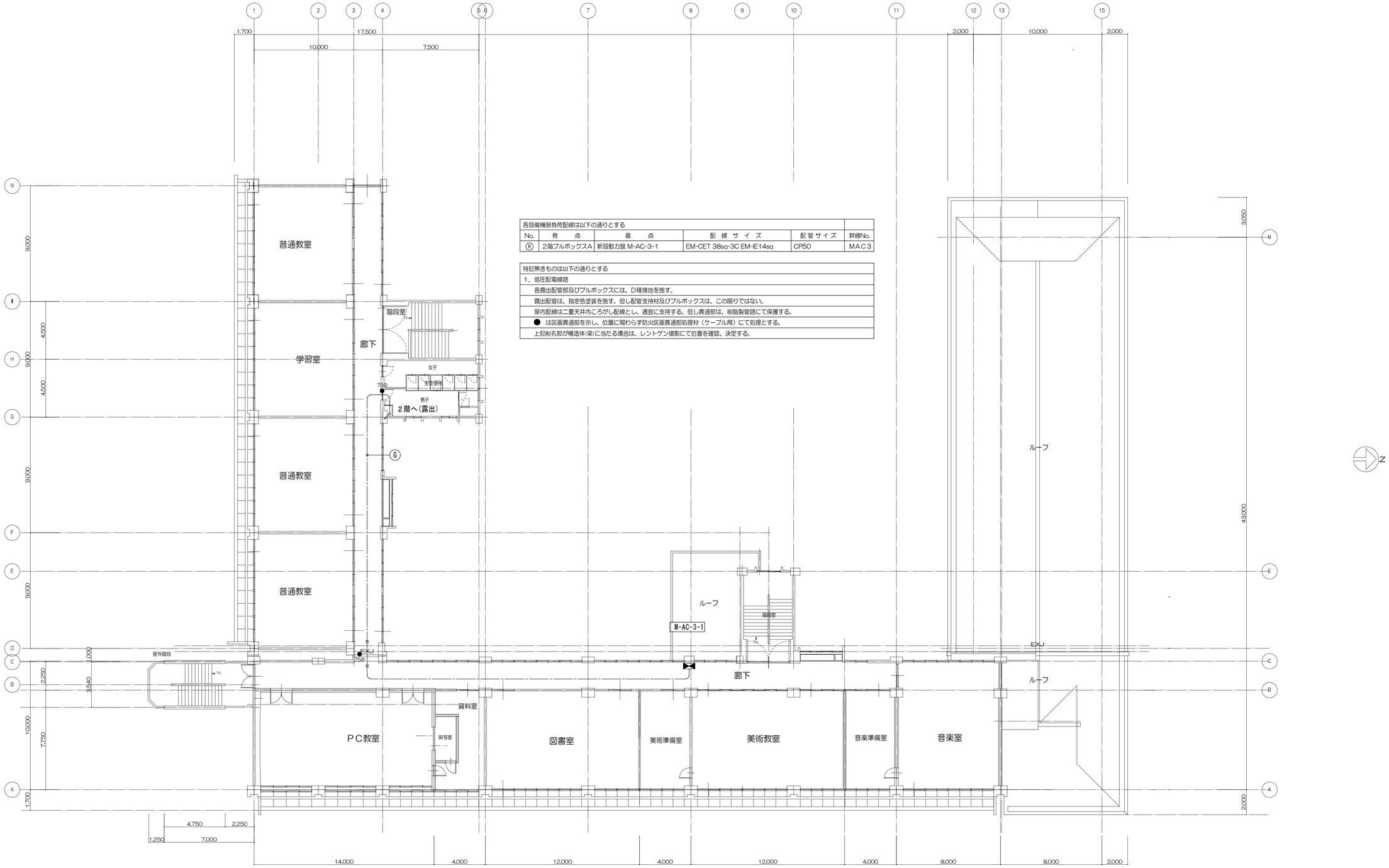
特記無きものは以下の通りとする
1．低圧配電線路
各露出配管部及びプルボックスには、D種接地を施す。
露出配管は、指定色塗装を施す。但し配管支持材及びプルボックスは、この限りではない。
屋内配線は二重天井内ころがし配線とし、適宜に支持する。但し貫通部は、樹脂製管路にて保護する。
● は区画貫通部を示し、位置に関わらず防火区画貫通部処理材（ケーブル用）にて処理とする。
上記削孔部が構造体(梁)に当たる場合は、レントゲン撮影にて位置を確認、決定する。
☒A　SS 500 x700 x400 WP-SUS

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校)　設計図

幹線設備　2階平面図

DW.	CK.	NO.	DATE
		E-04	27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



各設備機器負荷配線は以下の通りとする

No.	発　点	着　点	配 線 サ イ ズ	配管サイズ	幹線No.
Ⓗ	2階プルボックスA	新設動力盤 M-AC-3-1	EM-CET 38sq-3C EM-IE14sq	CP50	MAC3

特記無きものは以下の通りとする

1．低圧配電線路

各露出配管部及びプルボックスには、D種接地を施す。

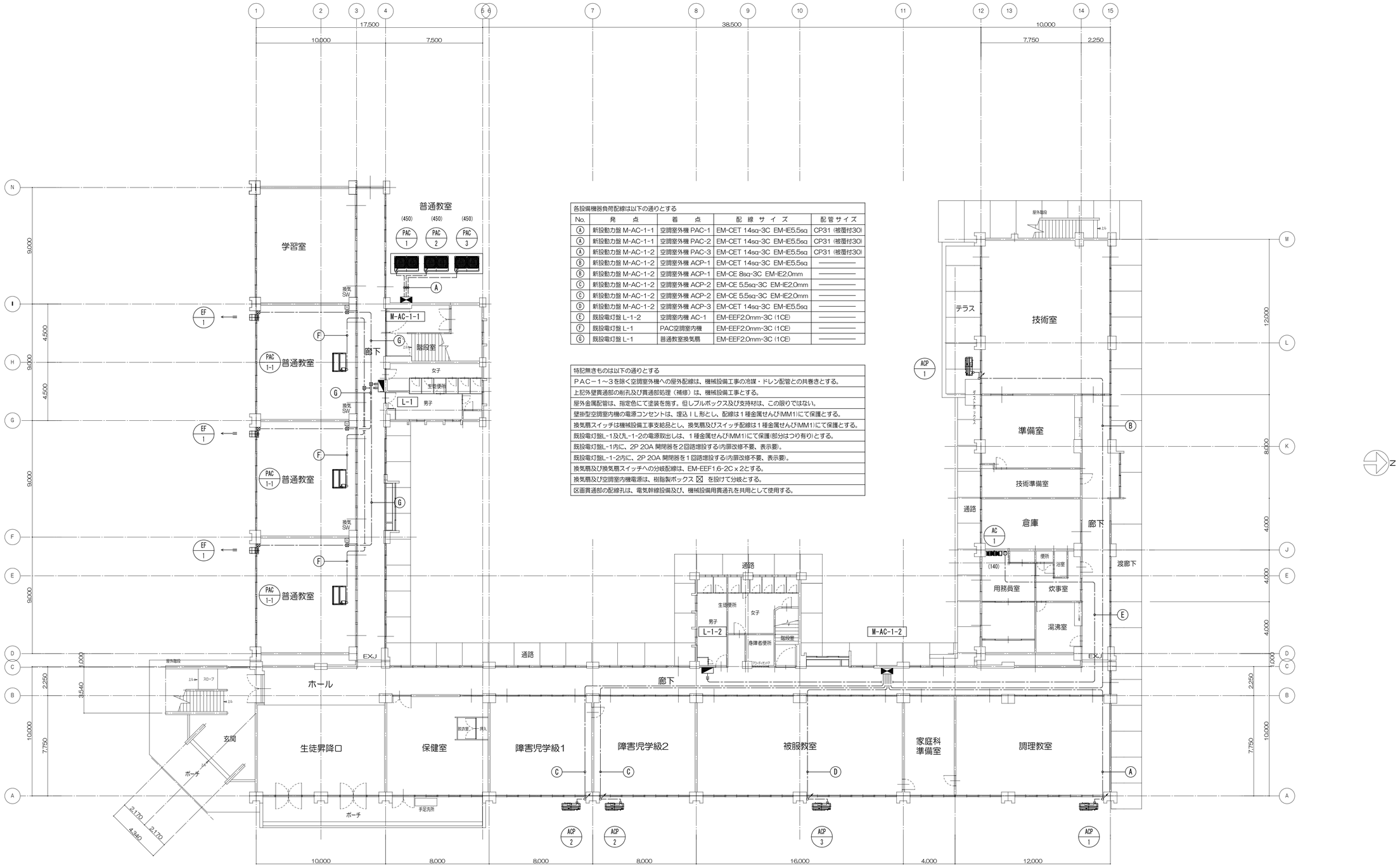
露出配管は、指定色塗装を施す。但し配管支持材及びプルボックスは、この限りではない。

屋内配線は二重天井内ころがし配線とし、適宜に支持する。但し貫通部は、樹脂製管路にて保護する。

● は区画貫通部を示し、位置に関わらず防火区画貫通部処理材（ケーブル用）にて処理とする。

上記削孔部が構造体(梁)に当たる場合は、レントゲン撮影にて位置を確認、決定する。

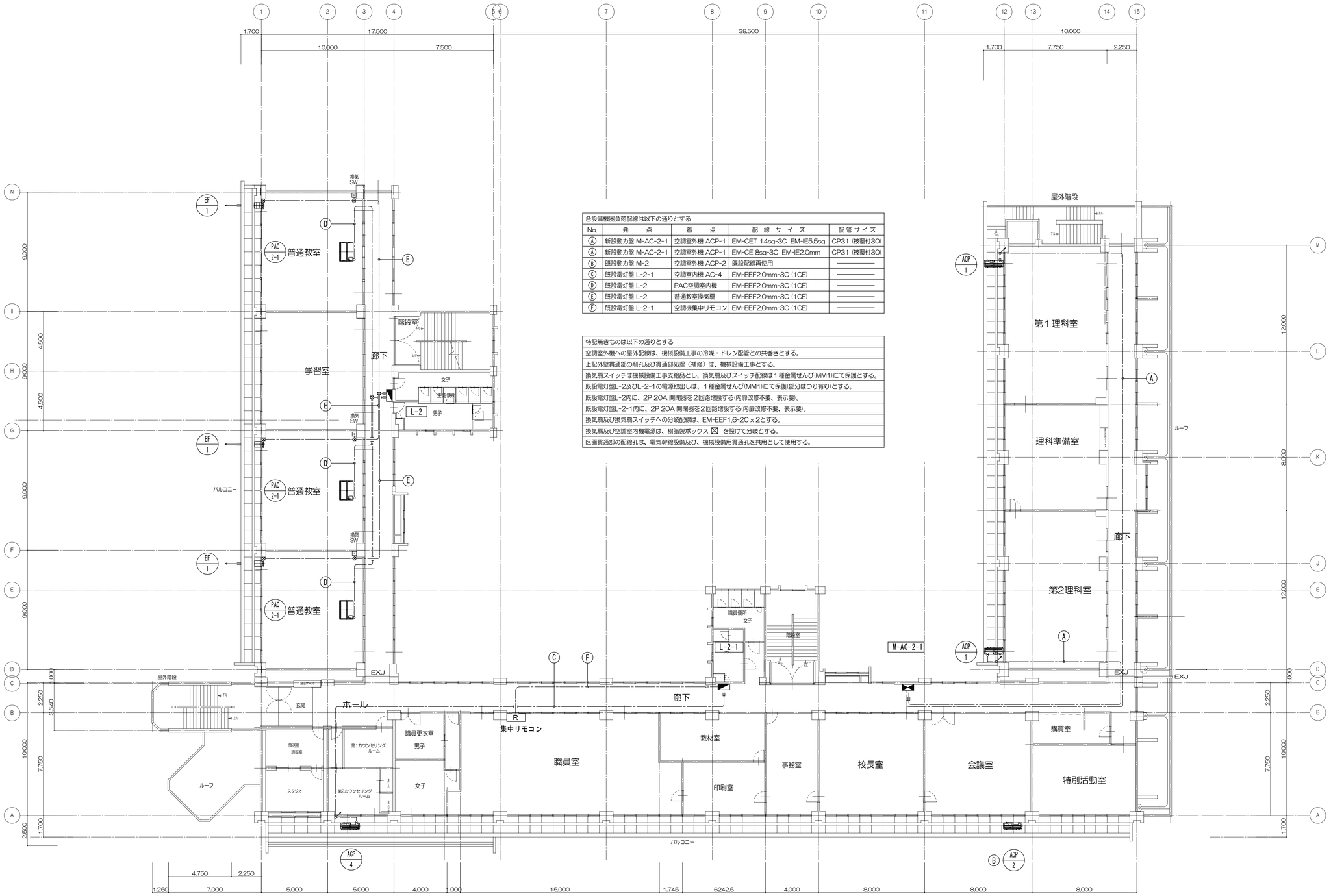
京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校)　設計図			設計・監理　一級建築士事務所
1:100 SCALE		SCALE	野中建築設計事務所
幹線設備　3階平面図			1級建築士第147931号　野中健一
DW.	CK.	NO. E-05	DATE 27-03
			〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20
			TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



各設備機器負荷配線は以下の通りとする				
No.	発　点	着　点	配 線 サ イ ズ	配管サイズ
Ⓐ	新設動力盤 M-AC-1-1	空調室外機 PAC-1	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	CP31 (被覆付30)
Ⓐ	新設動力盤 M-AC-1-1	空調室外機 PAC-2	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	CP31 (被覆付30)
Ⓐ	新設動力盤 M-AC-1-2	空調室外機 PAC-3	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	CP31 (被覆付30)
Ⓑ	新設動力盤 M-AC-1-2	空調室外機 ACP-1	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	――
Ⓑ	新設動力盤 M-AC-1-2	空調室外機 ACP-1	EM-CE 8sq-3C EM-IE2.0mm	――
Ⓒ	新設動力盤 M-AC-1-2	空調室外機 ACP-2	EM-CE 5.5sq-3C EM-IE2.0mm	――
Ⓒ	新設動力盤 M-AC-1-2	空調室外機 ACP-2	EM-CE 5.5sq-3C EM-IE2.0mm	――
Ⓓ	新設動力盤 M-AC-1-2	空調室外機 ACP-3	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	――
Ⓔ	既設電灯盤 L-1-2	空調室内機 AC-1	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	――
Ⓕ	既設電灯盤 L-1	PAC空調室内機	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	――
Ⓖ	既設電灯盤 L-1	普通教室換気扇	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	――

特記無きものは以下の通りとする
ＰＡＣ－１～３を除く空調室外機への屋外配線は、機械設備工事の冷媒・ドレン配管との共巻きとする。
上記外壁貫通部の削孔及び貫通部処理（補修）は、機械設備工事とする。
屋外金属配管は、指定色にて塗装を施す。但しプルボックス及び支持材は、この限りではない。
壁掛型空調室内機の電源コンセントは、埋込ＩＬ形とし、配線は１種金属せんび(IMM1)にて保護とする。
換気扇スイッチは機械設備工事支給品とし、換気扇及びスイッチ配線は１種金属せんび(IMM1)にて保護とする。
既設電灯盤L-1及びL-1-2の電源取出しは、１種金属せんび(IMM1)にて保護(部分はつり有り)とする。
既設電灯盤L-1内に、2P 20A 開閉器を２回路増設する(内扉改修不要、表示要)。
既設電灯盤L-1-2内に、2P 20A 開閉器を１回路増設する(内扉改修不要、表示要)。
換気扇及び換気扇スイッチへの分岐配線は、EM-EEF1.6-2C x 2とする。
換気扇及び空調室内機電源は、樹脂製ボックス ☒ を設けて分岐とする。
区画貫通部の配線孔は、電気幹線設備及び、機械設備用貫通孔を共用として使用する。

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校) 設計図				設計・監理　一級建築士事務所
	1:100 SCALE		SCALE	野中建築設計事務所
空調・換気設備　１階平面図				１級建築士第１４７９３１号　野中健一
DW.	CK.	NO. E-06	DATE 27-03	〒622－0014　京都府南丹市園部町上本町南２－２０
				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



各設備機器負荷配線は以下の通りとする				
No.	発　点	着　点	配 線 サ イ ズ	配管サイズ
Ⓐ	新設動力盤 M-AC-2-1	空調室外機 ACP-1	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	CP31 (被覆付30)
Ⓐ	新設動力盤 M-AC-2-1	空調室外機 ACP-1	EM-CE 8sq-3C EM-IE2.0mm	CP31 (被覆付30)
Ⓑ	既設動力盤 M-2	空調室外機 ACP-2	既設配線再使用	――
Ⓒ	既設電灯盤 L-2-1	空調室内機 AC-4	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	――
Ⓓ	既設電灯盤 L-2	PAC空調室内機	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	――
Ⓔ	既設電灯盤 L-2	普通教室換気扇	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	――
Ⓕ	既設電灯盤 L-2-1	空調機集中リモコン	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	――

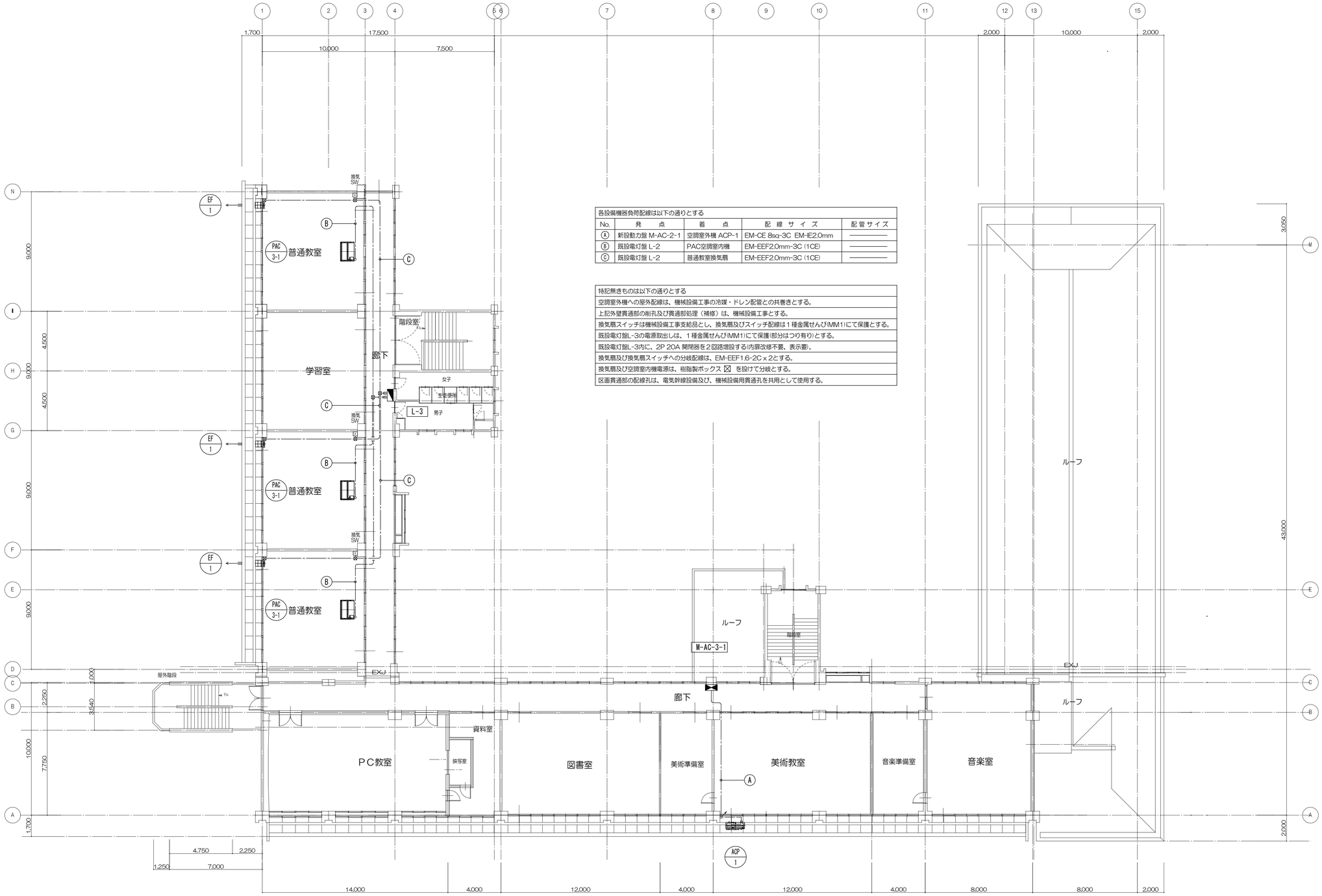
特記無きものは以下の通りとする
空調室外機への屋外配線は、機械設備工事の冷媒・ドレン配管との共巻きとする。
上記外壁貫通部の削孔及び貫通部処理（補修）は、機械設備工事とする。
換気扇スイッチは機械設備工事支給品とし、換気扇及びスイッチ配線は１種金属せんび(MM1)にて保護とする。
既設電灯盤L-2及びL-2-1の電源取出しは、１種金属せんび(MM1)にて保護(部分はつり有り)とする。
既設電灯盤L-2内に、2P 20A 開閉器を２回路増設する(内扉改修不要、表示要)。
既設電灯盤L-2-1内に、2P 20A 開閉器を２回路増設する(内扉改修不要、表示要)。
換気扇及び換気扇スイッチへの分岐配線は、EM-EEF1.6-2C x 2とする。
換気扇及び空調室内機電源は、樹脂製ボックス ☒ を投けて分岐とする。
区画貫通部の配線孔は、電気幹線設備及び、機械設備用貫通孔を共用として使用する。

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校)　設計図

空調・換気設備　2階平面図

DW.	CK.	NO.	DATE
		E-07	27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



各設備機器負荷配線は以下の通りとする				
No.	発　点	着　点	配 線 サ イ ズ	配管サイズ
Ⓐ	新設動力盤 M-AC-2-1	空調室外機 ACP-1	EM-CE 8sq-3C EM-IE2.0mm	――――
Ⓑ	既設電灯盤 L-2	PAC空調室内機	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	――――
Ⓒ	既設電灯盤 L-2	普通教室換気扇	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	――――

特記無きものは以下の通りとする
空調室外機への屋外配線は、機械設備工事の冷媒・ドレン配管との共巻きとする。
上記外壁貫通部の削孔及び貫通部処理（補修）は、機械設備工事とする。
換気扇スイッチは機械設備工事支給品とし、換気扇及びスイッチ配線は１種金属せんぴ(IMM1)にて保護とする。
既設電灯盤L-3の電源取出しは、１種金属せんぴ(IMM1)にて保護(部分はつり有り)とする。
既設電灯盤L-3内に、2P 20A 開閉器を２回路増設する(内扉改修不要、表示要)。
換気扇及び換気扇スイッチへの分岐配線は、EM-EEF1.6-2C×2とする。
換気扇及び空調室内機電源は、樹脂製ボックス ☒ を設けて分岐とする。
区画貫通部の配線孔は、電気幹線設備及び、機械設備用貫通孔を共用として使用する。

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校)　設計図

空調・換気設備　3階平面図

1:100 SCALE　SCALE

DW.　CK.　NO. E-08　DATE 27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

機械設備工事特記仕様書

【工事概要】

1　工事場所　　京丹波町蒲生ハッ谷６２番地

2　建物概要

建　物　名	構　　造	階　　数	延床面積（m^2）	消防法令別表第一	備　　考
蒲生野中学校	ＲＣ	3			

3　工事科目　　●印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目＼建物名称	蒲生野中学校		
空気調和設備	●	○	○
換気設備	●	○	○
排煙設備	○	○	○
自動制御設備	○	○	○
衛生器具設備	○	○	○
給水設備	○	○	○
排水設備	○	○	○
給湯設備	○	○	○
消火設備	○	○	○
ガス設備	○	○	○
浄化槽設備	○	○	○
医療ガス設備工事	○	○	○
	○	○	○
撤去工事	○	○	○
	○	○	○

【特記事項】

1　一般事項

1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成２５年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）平成２５年版（以下「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）平成２５年版」による。

2）工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。

2　特記事項

項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

章	項　　目	特　　記　　事　　項
一般事項	●設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 また、〔グ〕印は「京都府庁グリーン調達方針　◆」(以下、「グリーン調達」という。)の特定調達品目を示す。 ◆京都府ホームページ参照　＜ｈｔｔｐ://ｗｗｗ.ｐｒｅｆ.ｋｙｏｔｏ.ｊｐ/ｚａｉｓａｎ/ｋａｎｋｙｏ.ｈｔｍｌ＞
	●機材の承諾	機材の承諾に際しては、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監修の機械設備工事承諾図様式集（平成２６年版）によるものとする。
	●機材の品質 ・性能証明	使用する機材が、（財）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　設備機材等評価名簿（平成２６年版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準仕様書第１編第１章第４節１．４．２（ｃ）の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	●グリーン調達適合品の確認	グリーン調達適合品の証明を監督職員に提出する。 ●空調機　　○　　○
	●現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第１０条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様請負者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	○電気保安技術者	※適用する　　○適用しない
	●技能士	●配管（配管工事）　●建築板金（ダクト製作及び取付け） ●熱絶縁施工（保温工事） ○冷凍空気調和機器施工（ﾌﾘｯｼﾞｭﾆｯﾄ、ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形空気調和機の据付及び整備）
	●工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて請負者の負担とする。
	○官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて請負者の負担とする。
	○工事用仮設物	構内につくることが　※できる　　○できない
	●足場・さん橋類	別契約の関係者・請負者が定置したものは、無償で使用できる。
	○監督職員事務所	※設置しない　　○設置する　（○本工事　　○別途）
	●監督職員事務所に備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）　・公共建築設備工事標準図（機械設備工事編） ・機械設備工事監理指針　・機械設備工事施工チェックシート ・建築設備耐震設計施工指針　・工事写真の撮り方（改訂２版）－建築設備編－ ・公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
	○建設副産物の処理及び建設発生土の処理	○建設副産物の処理　○引き渡しを要するもの　【　　】 ○再生資源利用を図るもの【　　】 ○特別管理産業廃棄物 ○ＰＣＢ使用機器　○ＳＦ６ガス使用機器　○ ○建設発生土の処理　※構外搬出適切処理 ○構外指定地に搬出処理　【　　】 ○構内指示場所に敷き均し（不良土は構外適切処理） ○再生資源利用促進計画書等の作成・提出　建設副産物において、発生量の多少に係わらず、再生資源利用促進計画書（建設副産物対策近畿地方連絡協議会）について、施工計画書に含めて提出する。 また、実績については再生資源利用促進施書として提出する。 1）「建設副産物等処理計画書」「建設発生土処理計画書」を監督職員に提出する。 2）関係法令等に従い、適正に廃棄物等を処理し、「建設副産物等処理報告書」「建設発生土処理報告書」により監督職員に報告する。
		○アスベスト成形板の処理等 施工調査　アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト成形板使用部位の確認 ・アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 ・アスベスト成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認 確認範囲　※成形板の製造年等の確認　○Ｘ線解析法 処理方法　※非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。

章	項　　目	特　　記　　事　　項
一般事項	●工事関係書類	提出書類一覧表により提出。
	○履行報告	月報　※2部　○3部　　毎月２０日〆のものを２５日までに提出する。
	●工事写真	1）建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（改訂２版）－建築設備編－」による。 2）工事完成時、整理の上、１部提出する。 3）デジタル力メラで撮影可とする。
	●完成図書	名　称｜内　容｜大きさ｜部　数 ○完成図｜金文字製本｜Ａ４版｜１部 ○完成図｜○背貼り製本（　　版）　○Ａ４ファイル止め｜｜２部 ○施工図｜○背貼り製本（　　版）　○Ａ４ファイル止め｜｜２部 ○機器完成図等｜機器製作図　ファイル止め 保守指導案内書（機器取説書を含む） 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書｜Ａ４版｜２部 ○諸官庁提出書類｜副　本｜｜１式 ●原図｜完成図・施工図｜｜１部 ●完成写真｜アルバム綴り｜｜１部 電子納品については、現場説明事項書による。
	●著作権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
	●付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表1による。
	●総合調整 （測定結果は報告書にて提出）	●風量調整（測定共）　○水量調整（測定共）　●室内外空気の温湿度測定 ○室内気流及びしんあいの測定　●騒音の測定 ○飲料水の水質の測定　●機器等の運転状態の記録及び測定結果
	●耐震施工	1）設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針２０１４年版」による。 2）下記の設計用水平震度（ＫＨ）により、機器製作固定を行う。 設置場所｜○特定の施設 重要機器｜○特定の施設 一般機器｜●一般の施設 重要機器｜●一般の施設 一般機器 上層階、屋上及び塔屋｜2.0（2.0）｜1.5（2.0）｜1.5（2.0）｜1.0（1.5） 中　間　階｜1.5（1.5）｜1.0（1.5）｜1.0（1.5）｜0.6（1.0） 1 階 及 び 地 下 階｜1.0（1.0）｜0.6（1.0）｜0.6（1.0）｜0.4（0.6） 設置場所｜○特定の施設 水槽｜○一般の施設 水槽 上層階、屋上及び塔屋｜2.0｜1.5 中　間　階｜1.5｜1.0 1 階 及 び 地 下 階｜1.5｜1.0 注1　（　　）内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。 注2　設計用鉛直震度は、設計用水平震度の１／２とする。 注3　上層階の定義は、６階建以下の場合は最上階、７～９階建の場合は上階２階。 注4　重要機器（水槽類）は、下記に示すものとする。（水槽類にはオイルタンク等を含む。） 【　　】
	○一般用弁	標準仕様書第２編２．２．１（１）～（１１）によるほか、下記による。 1）水道直結部及び図面特記部の耐圧はＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ、その他はＪＩＳ又はＪＶ５Ｋとする。 2）給水・給湯用の青銅製弁は、給水用青銅弁を使用する。
	○フレキシブルジョイント	機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、鋼板に対してはベローズ形、ＦＲＰに対しては合成ゴム製とする。
	○伸縮管継手（鋼管用）	鋼管用伸縮管継手は下記による。 ※ベローズ形　　○スリーブ形
	○溶接接合	溶接部の非破壊検査は、 ※適用しない ○適用する（○放射線透過検査　○浸透深傷検査又は磁粉深傷検査）
	○地中埋設標及び埋設表示用テープ	1）給水管　地中埋設標（※要　○不要）　埋設表示用テープ（※要　○不要） 2）消火管　地中埋設標（※要　○不要）　埋設表示用テープ（※要　○不要） 3）ガス管　地中埋設標（※要　○不要）　埋設表示用テープ（※要　○不要） 4）油　管　地中埋設標（※要　○不要）　埋設表示用テープ（※要　○不要） 用途表示のあるテープ（幅は１５０ｍｍ以上）で、２倍長以上重ね合わせで使用する。
	○防食処理	土中埋設の排水用塩ビライニング鋼管は、防食処置を行う。
	●保温	1）保温材の使用は、下記による。 給水管・排水管｜※ポリスチレンフォーム保温材　○ 排煙ダクト・煙道、排気筒｜※ロックウール保温材　○ その他｜※グラスウール保温材　○ 2）膨張管及び膨張水槽からの補給水管の保温は、冷温水管に準ずる。 3）保温を施す膨張水槽等の蓋の保温　※必要　○不要 4）空気抜管の保温厚は２０ｍｍとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また、保温を行う範囲は空気抜弁までとする。 5）弁、ストレーナ等の金属製カバー外装種別は、下記による。 ・屋内　※カラー亜鉛鉄板　○ステンレス鋼板　○アルミニウム板 ・屋外　○カラー亜鉛鉄板　○ステンレス鋼板　○アルミニウム板 6）車庫内のダクト及び配管の保温は、機械室による。 7）合成樹脂製支持受　※硬質ウレタンフォームに準ずるもの ○ビーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの
	○塗装	機械室・電気室内の塗装は　※行う　○行わない
	○エポキシ樹脂コーティング及びライニング	エポキシ樹脂コーティング及びライニングの乾燥方法は下記による。 ※加熱乾燥　○常温乾燥
	○ボックス	ＰＦ管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する。
	○容量等の表示	機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機の出力、燃料消費量及び圧力損失は、表示された数値以下とする。
	●はつり	1）既存のコンクリート床・壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2）復旧はモルタル補修までとする。
	○防煙ダンパー及び防火防煙ダンパー	復帰方式は　※遠方復帰式　（電気式（定格入力　ＤＣ２４Ｖ　０．６Ａ以下）） ○手動復帰式
	○消音内貼	ダクト及びチャンバー、消音エルボの内貼り（箇所図示）は下記による。 ・消音内貼り部分の外部保温は　※不要　○必要 ・チャンバーの寸法は、外形寸法を示す。 （ただし、ダクト及び消音エルボは、内形寸法を示す。） ・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。
	○ドレン抜き	外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバー類に必要に応じ設ける。
	○取付枠	防火区画部に取付ける吹出口、吸込口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。

章	項　　目	特　　記　　事　　項
衛生設備	●機器の基礎	アンカーボルト及びナットは、下記による。 ・屋外、多湿室等　（※溶融亜鉛メッキ　●ＳＵＳ　） ・その他　（※一般品　○　） ○機器側の材質がＳＵＳ製の場合は、ＳＵＳ製とする。
	○防火区画	○平面階　○図示　○
	○掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた掲示板を設ける。
	○天井仕上区分	（　　）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	○給油設備	地下オイルタンク　○設ける　○設けない 遠隔油量指示計　○設ける　○設けない オイルサービスタンク　油面計　※ゲージ式　○ガラス管式 油面制御装置の機能は下記による。 ○給油ポンプの起動、停止制御用 ○返油ポンプの起動、停止制御用 ○満油警報 ○遠隔警報（○減油　○満減油） 油管（露出、トラフ内）　※配管用炭素鋼鋼管（黒）　○ 油管（地中）　※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆鋼管　○
	○建物導入部配管（排気及び通気を除く）	○標準図　施工４（ａ）（ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄを使用） ○標準図　施工５（ｂ）（ﾎﾞｰﾙｼﾞｮｲﾝﾄを使用） ○標準図　施工５（ｃ）（ﾌﾘｰｸｯｼｮﾝを使用）
	○鋼材	屋外部分　○溶融亜鉛めっき（※２種３５　○２種５０） ○ステンレス鋼製（ＳＵＳ３０４）
空気調和設備	●主方式	○全空気方式（○中央　○各階ユニット） ○ファンコイル・ダクト併用方式　●個別方式 ○
	○主要熱源機器	○ボイラー　○温水発生機　○コージェネレーション装置 ○氷蓄熱ユニット　○冷凍機（　　） ●空冷ヒートポンプエアコン
	○設計時の温湿度条件	場所｜屋外｜屋内（調整目標値） 時期｜温度（ＤＢ）｜湿度（ＲＨ）｜温度（ＤＢ）｜湿度（ＲＨ）｜温度（ＤＢ）｜湿度（ＲＨ） 冬期｜℃｜％｜℃｜％｜℃｜％ 夏期｜℃｜％｜℃｜％｜℃｜％
	○長方形ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法（○共板フランジ工法　○スライドオンフランジ工法）
	○ダクトの分岐方法	○割込み工法　○直付け工法
	●配管材料（図面特記部分は除く）	冷温水管　※配管用炭素鋼管（白）　○ 冷却水管　※配管用炭素鋼管（白） ○塩ビライニング鋼管　（ＳＧＰ－ＶＡ、ＳＧＰ－ＦＶＡ） ○ 空調用排水管　※配管用炭素鋼管（白）（○ねじ接合　○ＭＤジョイントによる接合） ○水配管用亜鉛めっき鋼管 ●硬質ポリエチレン管（ＶＰ） 蒸気配管　給気管　※配管用炭素鋼管（黒）　○ 還　管　※圧力配管用炭素鋼管（黒）　○ 補給水管　※配管用炭素鋼管（白）　○ 膨張管　※配管用炭素鋼管（白）　○ エア抜き管　※配管用炭素鋼管（白）　○ 冷媒管　○銅管　●断熱材被覆銅管 ●空気調和機の２次側配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。
	○温度計	○工業用バイメタル式温度計 ○ガラス製棒状温度計　○ガラス製二重管温度計
	○定風量ユニット 変風量ユニット	○メカニカルタイプ　○風速センサータイプ
	○ファンコイルユニット カセット形ファンコイルユニット	風量分配ダクトは　○亜鉛鉄板製　○自己消火性のポリスチレンフォームなど
	○バーナー制御方式	○オン・オフ制御　○ハイ・ロー制御　○比例制御
	○電動機盤	○進相コンデンサー　（○要　※不要　）
	○排熱投入形再生器	直だき吸収冷温水機に（○要する。　※不要である。）
	○高温再生器の構造	○図面による。
	○コージェネレーション装置	○放熱装置　○排ガス消音器　○排ガス処理装置 ○防振装置　○補機付属制御装置 ○その他（　　）
	○鋼板製煙道	厚さ　※３．２ｍｍ　○４．５ｍｍ
	○ばい煙濃度計	○設けない　○設ける（電源はボイラー制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む） ※ファン付　○ファンなし
	○瞬間流量計	○固定形　個 ○着脱可能形　（測定用タッピング　個　本体　個）
	●保温（図面特記部分は除く）	1）冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内　隠ぺい部　※不要　○必要 露 出 部　●カラー鋼板 ○ ・屋外　●ステンレス鋼板 ○保温化粧ケース（○樹脂製　○アルミ合金製　○ステンレス鋼板製 ○溶融亜鉛メッキ鋼板製） ・保温化粧ケースの下部カバー　○必要　○不要 2）ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3）加湿用給水水槽の保温は膨張タンクに準ずる。 4）トラフ内の油管はプラスチックテープ１／２重ね１回巻きとする。
換気設備	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法（○共板フランジ工法　○スライドオンフランジ工法） ○スパイラルダクト
	○ダクトの分岐方法	給気ダクト　○割込み方式　○直付け方式 排気ダクト　○割込み方式　○直付け方式
	○厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。 ダクトの長辺｜板厚 ４５０ｍｍ以下｜０．６ｍｍ ４５０ｍｍを超え１２００ｍｍ以下｜０．８ｍｍ １２００ｍｍを超え１８００ｍｍ以下｜１．０ｍｍ １８００ｍｍを超えるもの｜１．２ｍｍ

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校)　設計図			設計・監理　一級建築士事務所 野中建築設計事務所 １級建築士第１４７９３１号　野中健一
N.S　SCALE		SCALE	
機械設備工事特記仕様書			〒622－0014　京都府南丹市園部町上本町南2－20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408
DW.	CK.	NO. M-01	DATE 27-03

空調機器表

機器番号	機器名称	機器仕様	電気容量 電源	電気容量 容(Kw)量	設置場所	数量	備考
PAC－１	空冷ヒートポンプエアコン	室外機　１６ＨＰ　（ダイキン　ＲＸＹＰ４５０Ｄ　相当品）	3φ200Ｖ		1階室外機置場	1	コンクリート基礎（建築工事）
		冷房能力：４５．０ｋｗ　暖房能力：５０．０ｋｗ	消費電力				防振架台
		圧縮機：１０．１ｋｗ	（冷房時）	１６．２０			質　量：２５３ｋｇ
		送風機：（0.47ｋｗ×2）	（暖房時）	１５．４０			運転音：８６．０ｄＢ（Ａ）
		風　量：281.00m ³/m　通年エネルギー消費効率ＡＰＦ：５．００					
ＰＡＣ－１－１	空冷ヒートポンプエアコン	室内機　５ＨＰ　（ダイキン　ＦＸＹＨＰ１４０ＭＣ　相当品）	1φ200Ｖ		1階　普通教室	3	リモコンスイッチ・鍵付ボックス
		天吊形　送風機　：０．１５０ｋｗ	消費電力				冷媒分岐管・ドレンアップ機能
		冷房能力：１４．０ｋｗ　暖房能力：１６．０ｋｗ	（冷房時）	０．２５３			質　量：３９．０ｋｇ
		風　量：２６．00m ³/m	（暖房時）	０．２５３			運転音：６４．０ｄＢ（Ａ）
PAC－2	空冷ヒートポンプエアコン	室外機　１６ＨＰ　（ダイキン　ＲＸＹＰ４５０Ｄ　相当品）	3φ200Ｖ		1階室外機置場	1	コンクリート基礎（建築工事）
		冷房能力：４５．０ｋｗ　暖房能力：５０．０ｋｗ	消費電力				防振架台
		圧縮機：１０．１ｋｗ	（冷房時）	１６．２０			質　量：２５３ｋｇ
		送風機：（0.47ｋｗ×2）	（暖房時）	１５．４０			運転音：８６．０ｄＢ（Ａ）
		風　量：281.00m ³/m　通年エネルギー消費効率ＡＰＦ：５．００					
ＰＡＣ－2－１	空冷ヒートポンプエアコン	室内機　５ＨＰ　（ダイキン　ＦＸＹＨＰ１４０ＭＣ　相当品）	1φ200Ｖ		2階　普通教室	3	リモコンスイッチ・鍵付ボックス
		天吊形　送風機　：０．１５０ｋｗ	消費電力				冷媒分岐管・ドレンアップ機能
		冷房能力：１４．０ｋｗ　暖房能力：１６．０ｋｗ	（冷房時）	０．２５３			質　量：３９．０ｋｇ
		風　量：２６．00m ³/m	（暖房時）	０．２５３			運転音：６４．０ｄＢ（Ａ）
PAC－3	空冷ヒートポンプエアコン	室外機　１６ＨＰ　（ダイキン　ＲＸＹＰ４５０Ｄ　相当品）	3φ200Ｖ		1階室外機置場	1	コンクリート基礎（建築工事）
		冷房能力：４５．０ｋｗ　暖房能力：５０．０ｋｗ	消費電力				防振架台
		圧縮機：１０．１ｋｗ	（冷房時）	１６．２０			質　量：２５３ｋｇ
		送風機：（0.47ｋｗ×2）	（暖房時）	１５．４０			運転音：８６．０ｄＢ（Ａ）
		風　量：281.00m ³/m　通年エネルギー消費効率ＡＰＦ：５．００					
ＰＡＣ－3－１	空冷ヒートポンプエアコン	室内機　５ＨＰ　（ダイキン　ＦＸＹＨＰ１４０ＭＣ　相当品）	1φ200Ｖ		3階　普通教室	3	リモコンスイッチ・鍵付ボックス
		天吊形　送風機　：０．１５０ｋｗ	消費電力				冷媒分岐管・ドレンアップ機能
		冷房能力：１４．０ｋｗ　暖房能力：１６．０ｋｗ	（冷房時）	０．２５３			質　量：３９．０ｋｇ
		風　量：２６．00m ³/m	（暖房時）	０．２５３			運転音：６４．０ｄＢ（Ａ）
ACP－1	空冷ヒートポンプエアコン	室外機　8ＨＰ　（ダイキン　ＳＺＺＨ２２４ＣＤＤ　相当品）	3φ200Ｖ		1階室外機置場	1	1階コンクリート基礎（建築工事）
		冷房能力：２０．０ｋｗ　暖房能力：２２．４ｋｗ	消費電力		1階室外機置場	1	ブロック基礎(技術・2・3階のみ)
		圧縮機：３．９４ｋｗ	（冷房時）	６．８１	2階室外機置場	2	質　量：１３３ｋｇ
		送風機：（0.20ｋｗ+0.20ｋｗ）	（暖房時）	６．１５	3階室外機置場	1	運転音：８６．０ｄＢ（Ａ）
		風　量：160.00m ³/m　通年エネルギー消費効率ＡＰＦ：４．８０					
ＡＣＰ－1－１	空冷ヒートポンプエアコン	室内機　4ＨＰ	3φ200Ｖ		1階　技術室	2	リモコンスイッチ・鍵付ボックス
		天吊形　送風機　：０．１５０ｋｗ			1階　調理教室	2	冷媒分岐管
		風　量：28.00m ³/m			2階　第1理科室	2	質　量：38．０ｋｇ
					2階　第２理科室	2	運転音：６４．０ｄＢ（Ａ）
					3階　美術教室	2	

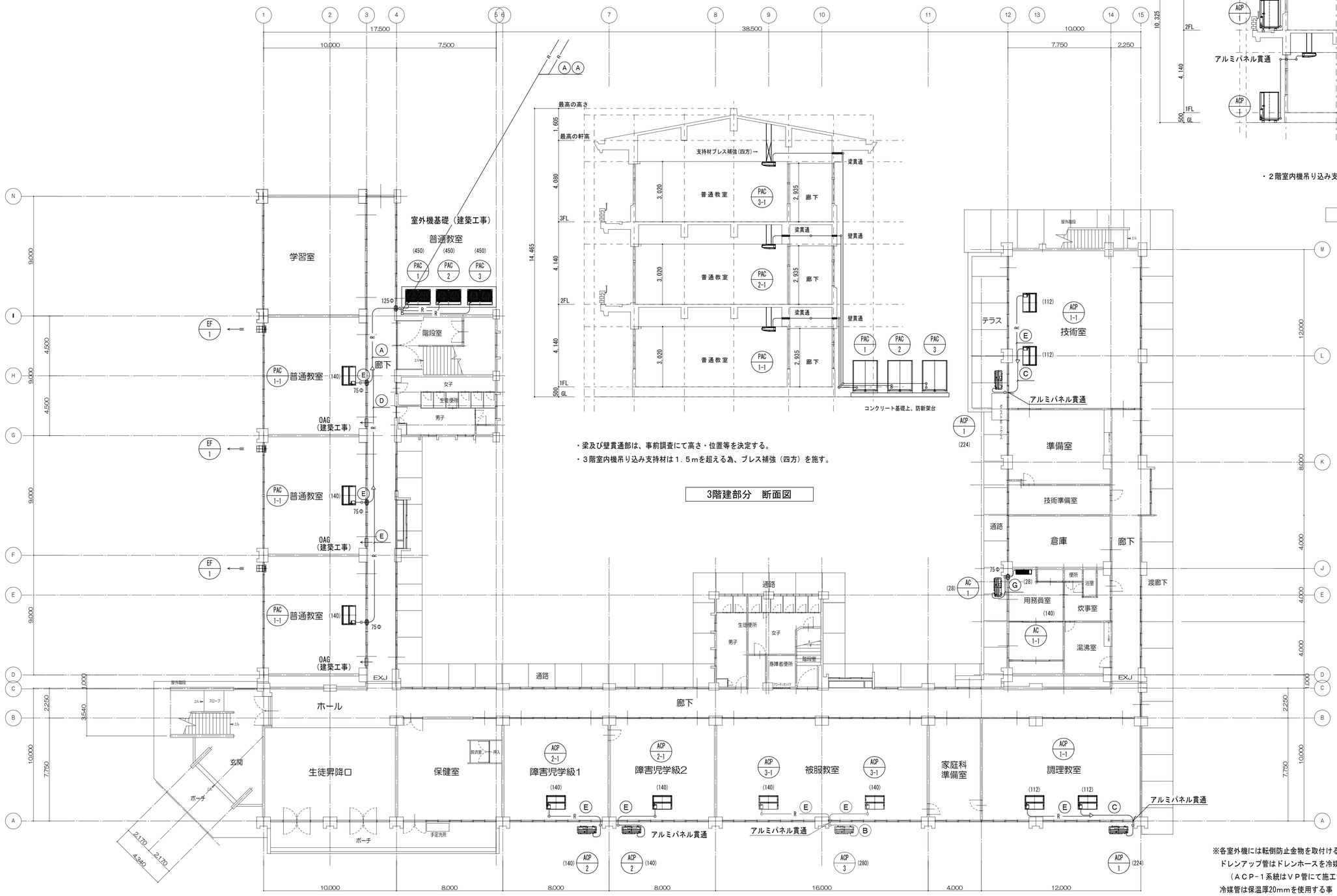
空調機器表

機器番号	機器名称	機器仕様	電気容量 電源	電気容量 容(Kw)量	設置場所	数量	備考
ACP－2	空冷ヒートポンプエアコン	室外機　5ＨＰ　（ダイキン　ＳＺＲＨ１４０Ｂ　相当品）	3φ200Ｖ		1階室外機置場	1	1階コンクリート基礎（建築工事）
		冷房能力：１２．５ｋｗ　暖房能力：１４．０ｋｗ	消費電力		1階室外機置場	1	ブロック基礎(2階のみ)
		圧縮機：2.41ｋｗ	（冷房時）	４．２２	2階室外機置場	1	質　量：７３ｋｇ
		送風機：0.21ｋｗ	（暖房時）	６．４０			運転音：７５．０ｄＢ（Ａ）
		風　量：88.00m ³/m　通年エネルギー消費効率ＡＰＦ：５．００					
ＡＣＰ－2－１	空冷ヒートポンプエアコン	室内機　5ＨＰ	3φ200Ｖ		1階障害児学級1	1	リモコンスイッチ・鍵付ボックス
		天吊形　送風機　：０．１５０ｋｗ			1階障害児学級2	1	質　量：38．０ｋｇ
		風　量：28.00m ³/m			2階　会議室	1	運転音：６４．０ｄＢ（Ａ）
ACP－3	空冷ヒートポンプエアコン	室外機　10ＨＰ　（ダイキン　ＳＺＺＨ２８０ＣＢ　相当品）	3φ200Ｖ		1階室外機置場	1	1階コンクリート基礎（建築工事）
		冷房能力：２５．０ｋｗ　暖房能力：２８．０ｋｗ	消費電力				質　量：１３３ｋｇ
		圧縮機：5.26ｋｗ	（冷房時）	９．００			運転音：６０．０ｄＢ（Ａ）
		送風機：0.22×2ｋｗ	（暖房時）	７．６３			
		風　量：160m ³/m　通年エネルギー消費効率ＡＰＦ：５．００					
ＡＣＰ－3－１	空冷ヒートポンプエアコン	室内機　5ＨＰ	3φ200Ｖ		1階被服教室	2	リモコンスイッチ・鍵付ボックス
		天吊形　送風機　：０．１５０ｋｗ					質　量：38．０ｋｇ
		風　量：２７．00m ³/m					運転音：４１．０ｄＢ（Ａ）
ACP－4	ルームエアコン	室外機　1.8ＨＰ　（ダイキン　ＳＺＲＡ45ＢＶ　相当品）	1φ200Ｖ		2階室外機置場	1	ブロック基礎
		冷房能力：０４．０ｋｗ　暖房能力：０４．５ｋｗ	消費電力				質　量：４１ｋｇ
		圧縮機：0.71ｋｗ	（冷房時）	１．０６			運転音：６３．０ｄＢ（Ａ）
		送風機：0.064ｋｗ	（暖房時）	１．１２			
		風　量：34.00m ³/m　通年エネルギー消費効率ＡＰＦ：５．１０					
ＡＣＰ－4－１	ルームエアコン	室内機　1.8ＨＰ	1φ200Ｖ		2階ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ室	1	ワイヤレスリモコンスイッチ
		壁掛形　送風機　：０．０２７ｋｗ					質　量：１０．０ｋｇ
		風　量：11.00m ³/m					運転音：５７．０ｄＢ（Ａ）
AC-1	ルームエアコン	室外機　1.15ＨＰ　（ダイキン　Ｓ２８ＳＴＡＸＳ　相当品）	1φ100Ｖ		1階室外機置場	1	ブロック基礎
		冷房能力：０２．８ｋｗ　暖房能力：０３．６ｋｗ	消費電力				質　量：３５ｋｇ
		圧縮機：0.75ｋｗ	（冷房時）	０．６６			運転音：４９．０ｄＢ（Ａ）
		送風機：0.027ｋｗ	（暖房時）	０．８１			
		風　量：39.00m ³/m　通年エネルギー消費効率ＡＰＦ：５．８０					
ＡＣ－1－１	ルームエアコン	室内機　1.15ＨＰ	1φ100Ｖ		1階用務員室	1	ワイヤレスリモコンスイッチ
		壁掛形　送風機　：０．０２６ｋｗ					質　量：９．０ｋｇ
		風　量：11.00m ³/m					運転音：４７．０ｄＢ（Ａ）
ＣＯ－1	ON/OFFコントローラー	DCS301B1			2階職員室	1	
ＥＦ－1	排気ファン	有圧換気扇（格子タイプ）　（三菱　ＥＸ－２０ＳＣ3　相当品）	1φ100Ｖ		1階普通教室	3	コントロールスイッチ
		２００Φ	消費電力		2階普通教室	3	屋外ステンレスフード
		風　量：606m ³/h　１０Pa	（強運転）	0.018	3階普通教室	3	質　量：5．０ｋｇ
			（２４Ｈ）	0.009			運転音：４１．０ｄＢ（Ａ）
							アルミパネル（建築工事）

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校)　設計図

N.S	SCALE	SCALE	SCALE
空調・換気設備　機器表			
DW.	CK.	NO. M-02	DATE 27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第１４７９３１号　野中健一
〒６２２－００１４　京都府南丹市園部町上本町南２－２０
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



・２階室内機吊り込み支持材は１．５ｍを超える為、ブレス補強（四方）を施す。

2階建部分　断面図

・梁及び壁貫通部は、事前調査にて高さ・位置等を決定する。

・３階室内機吊り込み支持材は１．５ｍを超える為、ブレス補強（四方）を施す。

3階建部分　断面図

冷媒管サイズ

記号	ガス管	液管
A	28.6φ	12.7φ
B	25.4φ	12.7φ
C	25.4φ	9.5φ
D	22.2φ	9.5φ
E	15.9φ	9.5φ
F	12.7φ	6.4φ
G	9.5φ	6.4φ

※各室外機には転倒防止金物を取付ける事

ドレンアップ管はドレンホースを冷媒管共巻とし、最寄り雨水桝等に放流（ＶＰ管使用）する事

（ＡＣＰ－１系統はＶＰ管にて施工する事）

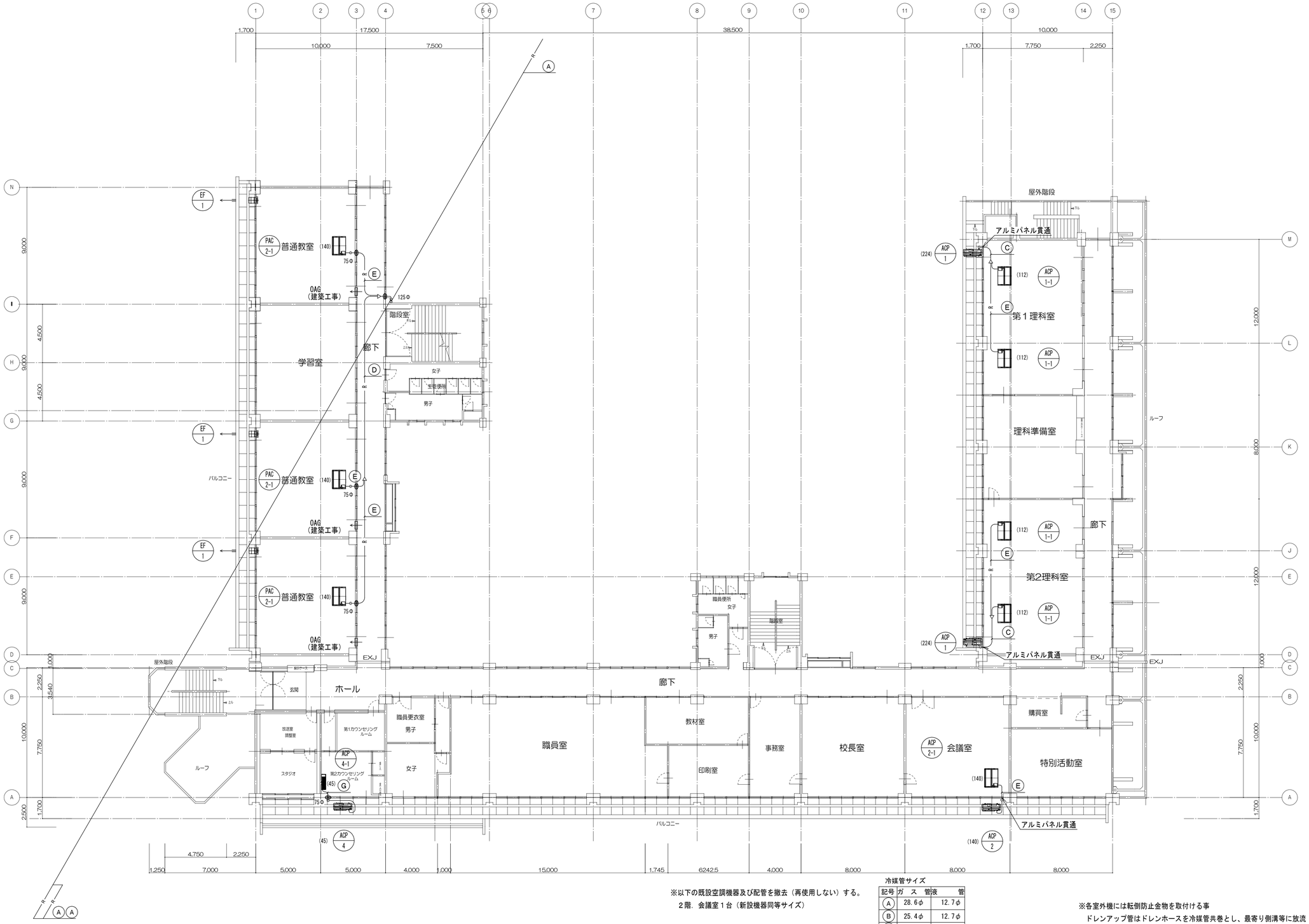
冷媒管は保温厚20mmを使用する事

◎ダイヤモンドコア貫通を示す（レントゲン撮影共）

ルームエアコンの露出配管はスリムダクトにて仕上げする事

普通教室に取付けるＯＡＧは建築工事とする

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校) 設計図				設計・監理　一級建築士事務所
1:100 SCALE		SCALE	SCALE	野中建築設計事務所
空調設備　１階平面図				１級建築士第147931号　野中健一
DW.	CK.	NO. M-03	DATE 27-03	〒622－0014　京都府南丹市園部町上本町南２－２０ TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



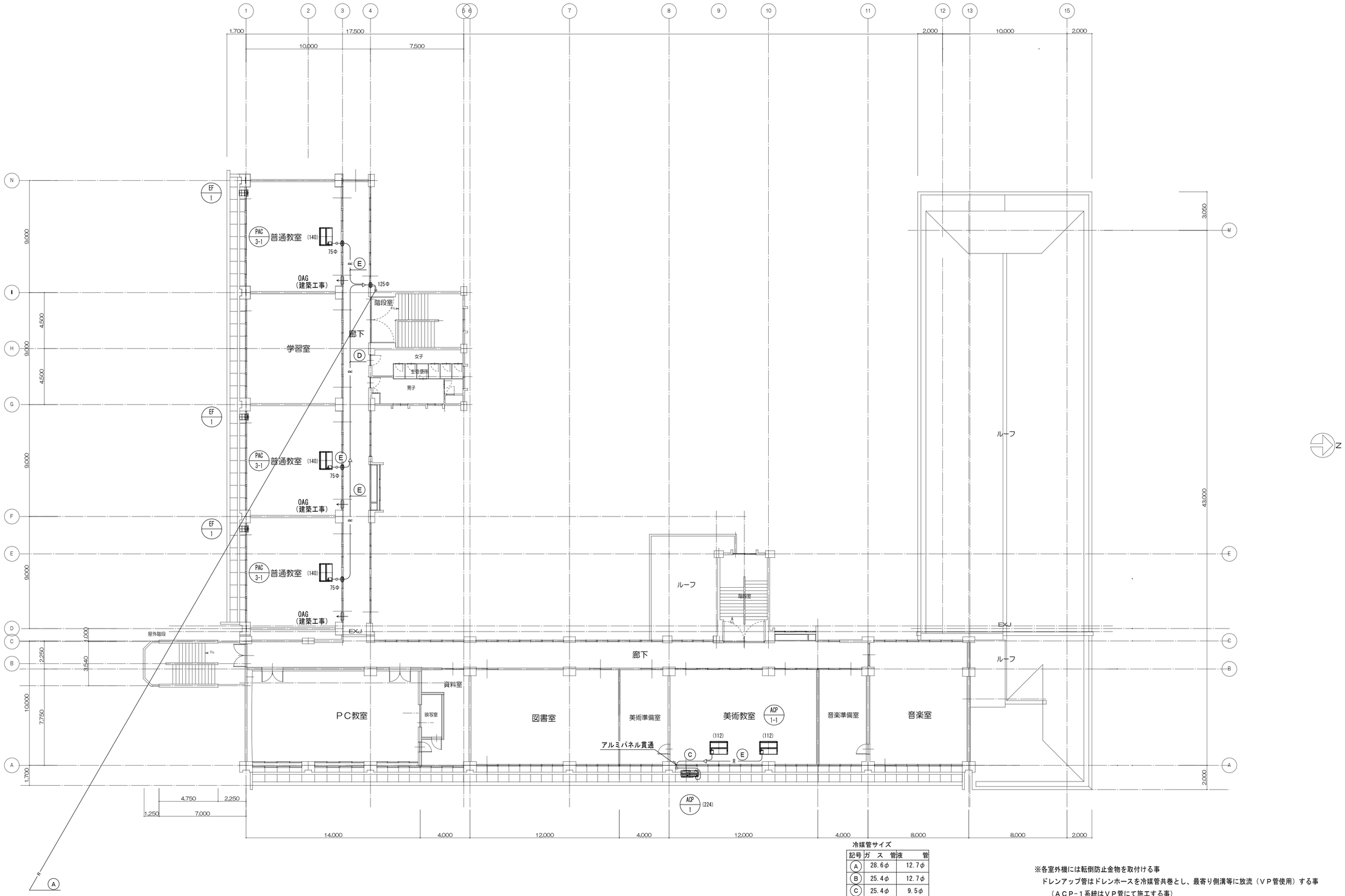
※以下の既設空調機器及び配管を撤去（再使用しない）する。
２階．会議室１台（新設機器同等サイズ）

冷媒管サイズ

記号	ガス管	液管
A	28.6φ	12.7φ
B	25.4φ	12.7φ
C	25.4φ	9.5φ
D	22.2φ	9.5φ
E	15.9φ	9.5φ
F	12.7φ	6.4φ
G	9.5φ	6.4φ

※各室外機には転倒防止金物を取付ける事
ドレンアップ管はドレンホースを冷媒管共巻とし、最寄り側清等に放流（ＶＰ管使用）する事
（ＡＣＰ－１、2系統はＶＰ管にて施工する事）
冷媒管は保温厚20mmを使用する事
ダイヤモンドコア貫通を示す（レントゲン撮影共）
普通教室に取付けるＯＡＧは建築工事とする

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校)　設計図			設計・監理　一級建築士事務所
1:100 SCALE		SCALE	野中建築設計事務所
空調設備　２階平面図			1級建築士第147931号　野中健一
DW.	CK.	NO. M-04	DATE 27-03
			〒622−0014　京都府南丹市園部町上本町南2−20
			TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



冷媒管サイズ

記号	ガス管	液管
A	28.6φ	12.7φ
B	25.4φ	12.7φ
C	25.4φ	9.5φ
D	22.2φ	9.5φ
E	15.9φ	9.5φ
F	12.7φ	6.4φ
G	9.5φ	6.4φ

※各室外機には転倒防止金物を取付ける事
ドレンアップ管はドレンホースを冷媒管共巻とし、最寄り側溝等に放流（ＶＰ管使用）する事
（ＡＣＰ－１系統はＶＰ管にて施工する事）
冷媒管は保温厚20mmを使用する事
ダイヤモンドコア貫通を示す（レントゲン撮影共）
普通教室に取付けるＯＡＧは建築工事とする

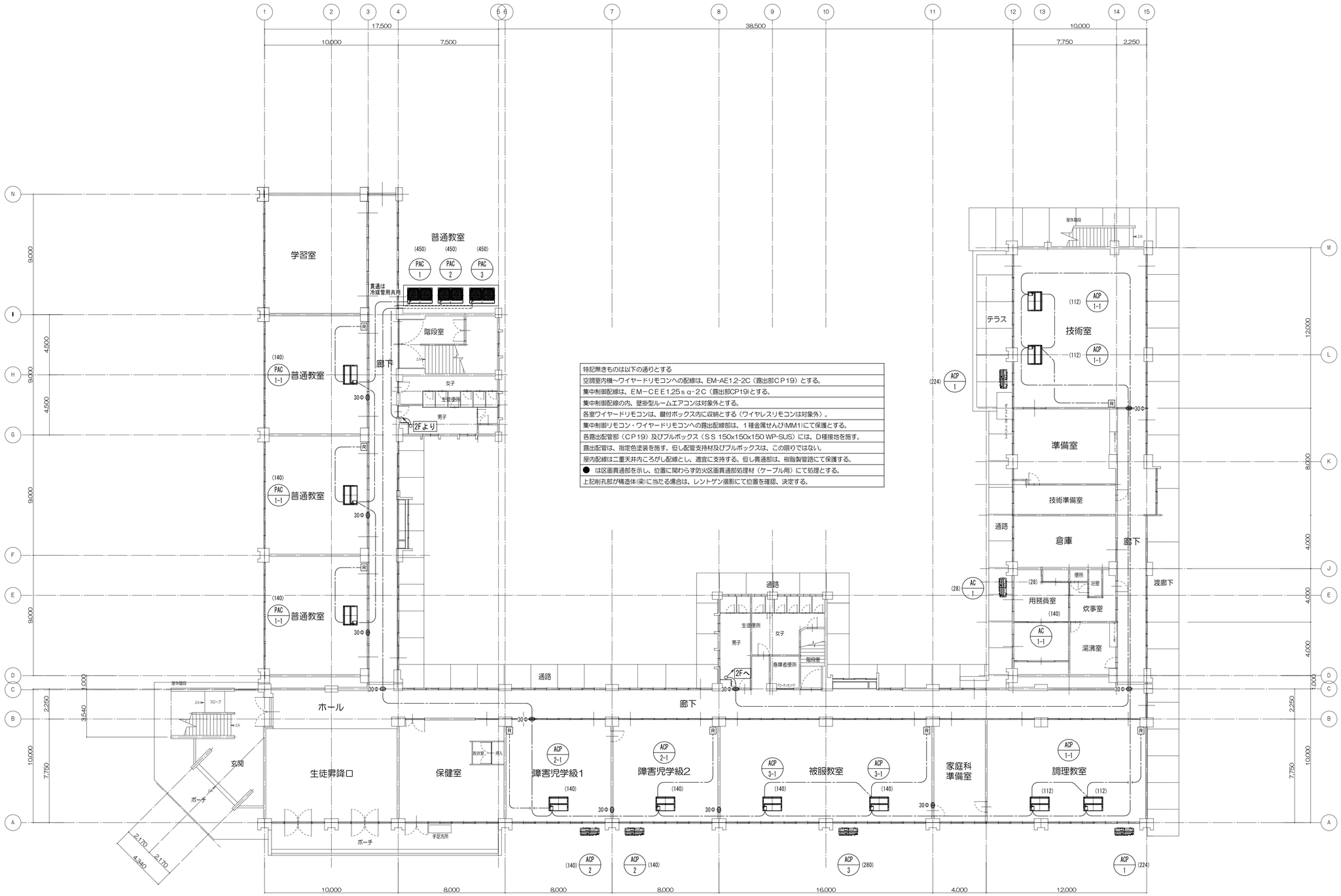
京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校)　設計図

空調設備　3階平面図

SCALE	SCALE	SCALE
1:100		

DW.	CK.	NO.	DATE
		M-05	27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
1級建築士第147931号　野中健一
〒622－0014　京都府南丹市園部町上本町南2－20
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



特記無きものは以下の通りとする
空調室内機～ワイヤードリモコンへの配線は、EM-AE1.2-2C（露出部ＣＰ19）とする。
集中制御配線は、ＥＭ－ＣＥＥ1.25ｓｑ-２Ｃ（露出部CP19)とする。
集中制御配線の内、壁掛型ルームエアコンは対象外とする。
各室ワイヤードリモコンは、鍵付ボックス内に収納とする（ワイヤレスリモコンは対象外）。
集中制御リモコン・ワイヤードリモコンへの露出配線部は、１種金属せんぴ(MM1)にて保護とする。
各露出配管部（ＣＰ19）及びプルボックス（ＳＳ 150x150x150 WP-SUS）には、Ｄ種接地を施す。
露出配管は、指定色塗装を施す。但し配管支持材及びプルボックスは、この限りではない。
屋内配線は二重天井内ころがし配線とし、適宜に支持する。但し貫通部は、樹脂製管路にて保護する。
● は区画貫通部を示し、位置に関わらず防火区画貫通部処理材（ケーブル用）にて処理とする。
上記削孔部が構造体(梁)に当たる場合は、レントゲン撮影にて位置を確認、決定する。

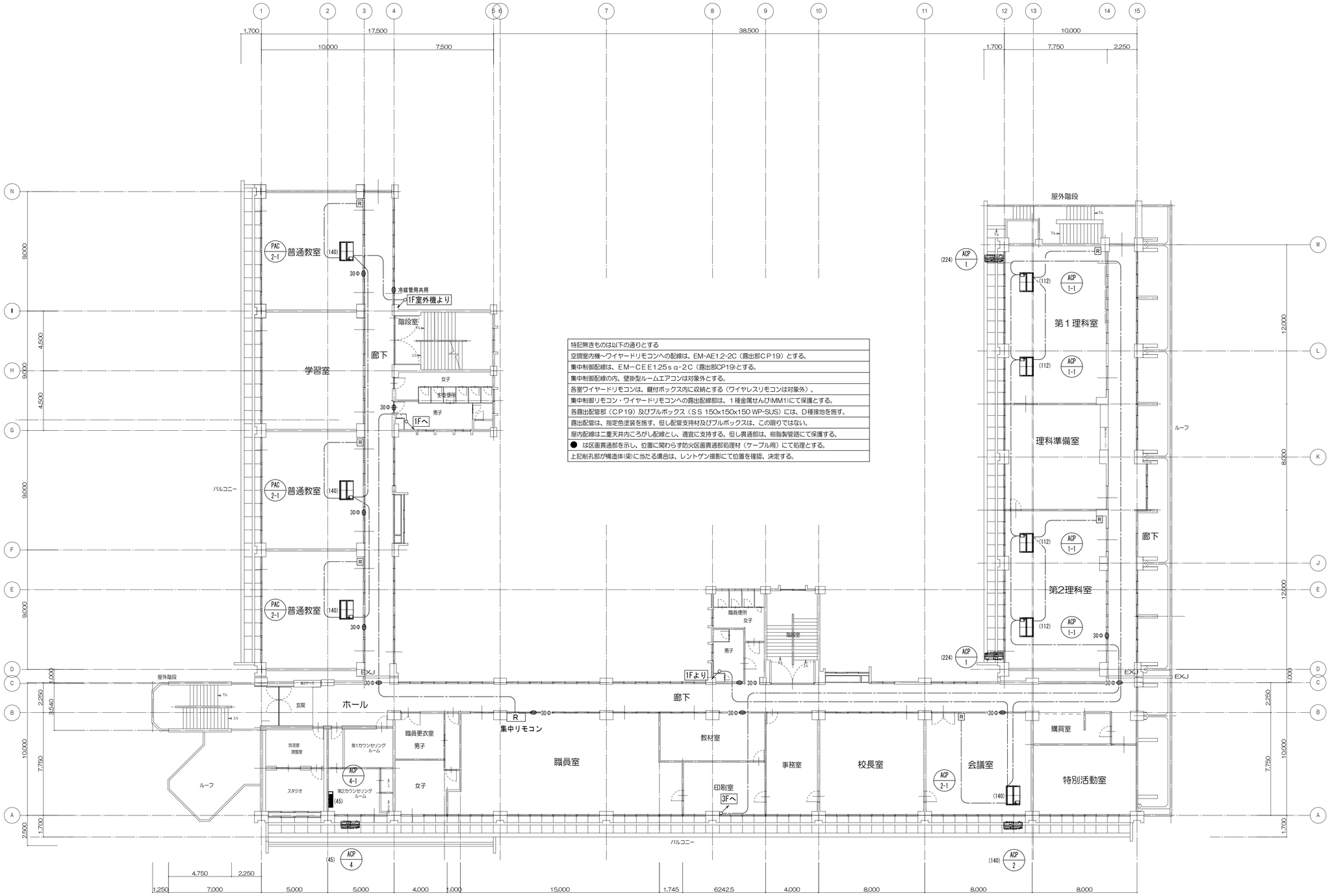
京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校) 設計図

1:100 SCALE

自動制御　１階平面図

DW. CK. NO. M-06 DATE 27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
１級建築士第１４７９３１号　野中健一
〒６２２－００１４　京都府南丹市園部町上本町南２－２０
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

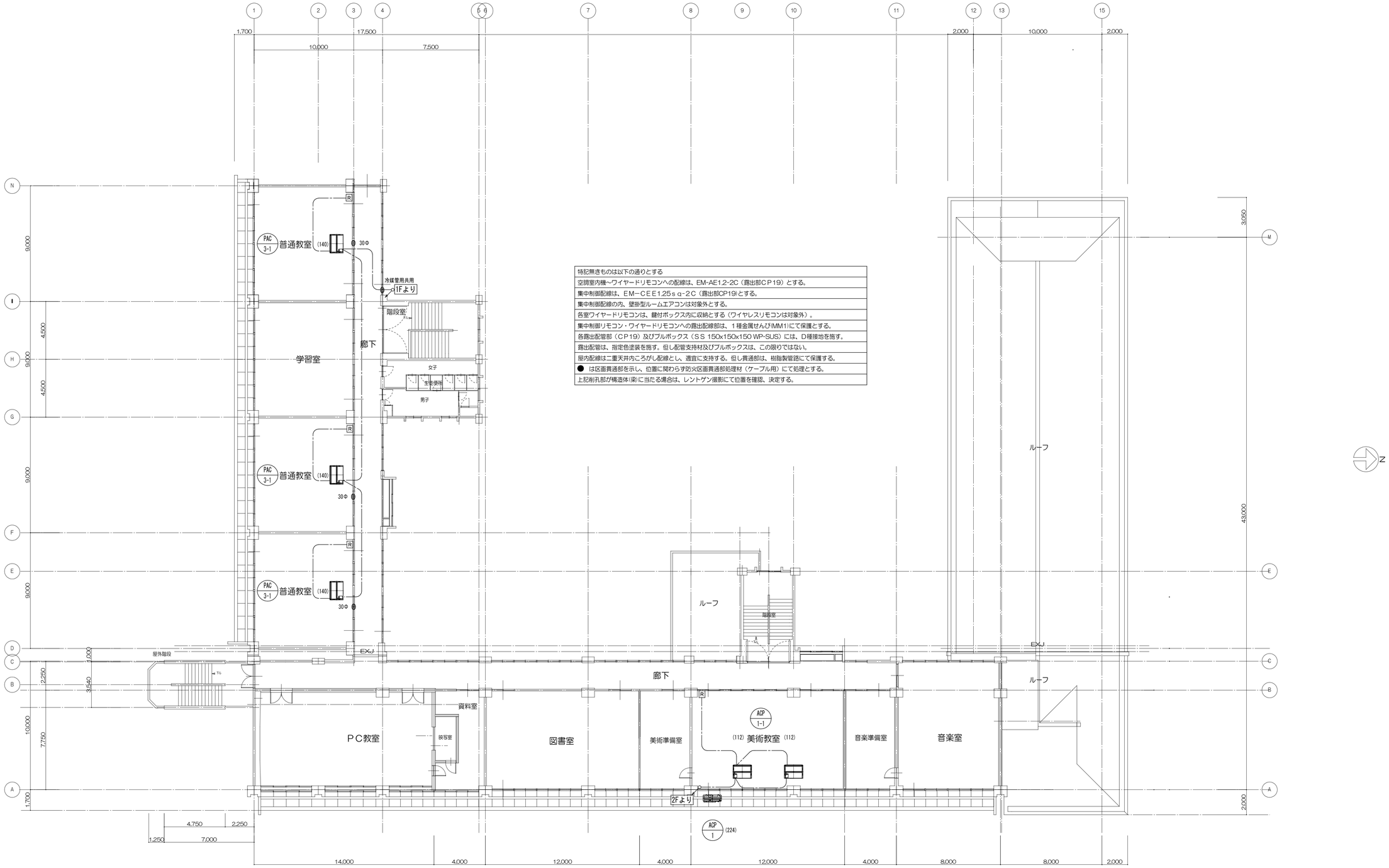


特記無きものは以下の通りとする
空調室内機～ワイヤードリモコンへの配線は、EM-AE1.2-2C（露出部ＣＰ19）とする。
集中制御配線は、ＥＭ－ＣＥＥ1.25ｓｑ-２Ｃ（露出部CP19)とする。
集中制御配線の内、壁掛型ルームエアコンは対象外とする。
各室ワイヤードリモコンは、鋼付ボックス内に収納とする（ワイヤレスリモコンは対象外）。
集中制御リモコン・ワイヤードリモコンへの露出配線部は、１種金属せんぴ(MM1)にて保護とする。
各露出配管部（ＣＰ19）及びプルボックス（ＳＳ 150x150x150 WP-SUS）には、Ｄ種接地を施す。
露出配管は、指定色塗装を施す。但し配管支持材及びプルボックスは、この限りではない。
屋内配線は二重天井内ころがし配線とし、適宜に支持する。但し貫通部は、樹脂製管路にて保護する。
●　は区画貫通部を示し、位置に関わらず防火区画貫通部処理材（ケーブル用）にて処理とする。
上記削孔部が構造体(梁)に当たる場合は、レントゲン撮影にて位置を確認、決定する。

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校)　設計図

1:100 SCALE		SCALE	SCALE
自動制御　２階平面図			
DW.	CK.	NO. M-07	DATE 27-03

設計・監理　一級建築士事務所
野中建築設計事務所
１級建築士第１４７９３１号　野中健一
〒６２２－００１４　京都府南丹市園部町上本町南２－２０
TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



特記無きものは以下の通りとする
空調室内機～ワイヤードリモコンへの配線は、EM-AE1.2-2C（露出部ＣＰ19）とする。
集中制御配線は、ＥＭ－ＣＥＥ1.25ｓｑ-２Ｃ（露出部CP19)とする。
集中制御配線の内、壁掛型ルームエアコンは対象外とする。
各室ワイヤードリモコンは、鍵付ボックス内に収納とする（ワイヤレスリモコンは対象外）。
集中制御リモコン・ワイヤードリモコンへの露出配線部は、１種金属せんび(MM1)にて保護とする。
各露出配管部（ＣＰ19）及びプルボックス（ＳＳ 150x150x150 WP-SUS）には、Ｄ種接地を施す。
露出配管は、指定色塗装を施す。但し配管支持材及びプルボックスは、この限りではない。
屋内配線は二重天井内ころがし配線とし、適宜に支持する。但し貫通部は、樹脂製管路にて保護する。
● は区画貫通部を示し、位置に関わらず防火区画貫通部処理材（ケーブル用）にて処理とする。
上記削孔部が構造体(梁)に当たる場合は、レントゲン撮影にて位置を確認、決定する。

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(蒲生野中学校)　設計図			設計・監理　一級建築士事務所 野中建築設計事務所 1級建築士第147931号　野中健一
1:100 SCALE	SCALE	SCALE	
自動制御　3階平面図			〒622－0014　京都府南丹市園部町上本町南2－20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408
DW.	CK.	NO. M-08	DATE 27-03